様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		山口福子	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	17
②事業名	学習成果が生きる仕組みづくり									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

生涯学習活動や社会体験を通じて多様な知識や技術、人的なネットワークなどを習得した人材が、地域や学校で次の世代や新たな活動参加者にその蓄積を伝え、また、地域の課題解決や地域の活性化に活躍する仕組みづくりとして、生涯学習人材バンク等を進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数62人）	・生涯学習人材バンクの利用（2件） ・人材バンク登録者数　62人	0円
平成24年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数64人）	・生涯学習人材バンクの利用(4件) ・人材バンク登録者数　63人 ・人材バンク活用に向けての他市等状況調査 （生涯学習かめおか財団）	0円
平成25年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数66人）	・生涯学習人材バンクの利用（4件） ・人材バンク登録者数　66人	0円
平成26年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数68人）	・生涯学習人材バンクの利用（4件） ・人材バンク登録者数　69人	0円
平成27年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数70人）	・生涯学習人材バンクの利用（2件） ・人材バンク登録者数　71人	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

前期基本計画において人材バンク登録者数を平成21年度の57人から増加させるとしています。その具体的目標値として平成27年度までに登録者数を70人と設定していた数値を達成したことから、100%の達成度とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの登録者数については、目標に対して実績が100％となり、当初掲げて目標を達成することができました。地域や学校で次の世代や新たな活動参加者にその知識を伝え、また、地域の課題解決や地域の活性化に活躍する仕組みづくりとして、生涯学習人材バンク等を進めることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

人材バンク登録者数は当初の目標を達成することができましたが、利用件数がまだまだ少ないのが現状です。今後はもっと広く知っていただくためにも制度の広報を強化する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても事業を展開することとし、人材バンク登録者の活躍の場を広げることにより、地域の課題解決や地域の活性化につながる仕組みづくりを進めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		明田　周人	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	身近な学習基盤の充実									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民や地域との連携を図りながら、図書館や文化施設をはじめとする既存の社会教育施設の効果的な活用を推進します。市内で活躍するＮＰＯ（民間非営利団体）やＮＧＯ（非政府組織）、ボランティア組織に関する情報を蓄積し、その連携や相互支援・協力をコーディネートする「かめおか市民活動推進センター」の活動の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・かめおか市民活動推進センターの機能強化 ・既存施設の効果的な活用	・市民活動推進センターの機能強化として検討会を開催（8回）し改善策等をまとめた	（機能強化業務委託料、センター管理運営委託料等） 1,735,200円
平成24年度	・かめおか市民活動推進センターの機能強化（スタッフ常駐体制の確立） ・既存施設の効果的な活用	・受付スタッフを常駐させ、機能強化に努めた。 ・情報発信力の強化	（センター管理運営業務委託料） 1,999,725円
平成25年度	・かめおか市民活動推進センターの機能強化（情報発信力の向上） ・既存施設の効果的な活用	受付スタッフの常駐化 今後の管理運営体制についての検討。	（センター管理運営業務委託料） 1,976,625円
平成26年度	・かめおか市民活動推進センターの機能強化（情報発信力の向上） ・既存施設の効果的な活用	中間支援を行うNPOへの委託に管理運営体制を変更。	（センター管理運営業務委託料等） 2,003,350円
平成27年度	・かめおか市民活動推進センターの機能強化（コーディネート力の向上） ・既存施設の効果的な活用	市民活動に関する相談件数(62件)	（センター管理運営業務委託料） 2,300,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

センター機能強化に向けて、継続して情報発信力等の強化に努めると共に、コーディネート力の向上に努めたことから、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市民活動を支え繋げる中間支援を充実させるため、かめおか市民活動推進センターの機能強化を継続して実施することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市民活動団体の活動を支えるため、推進センターの機能強化を図ることができました。しかし、市民の中には、推進センターの存在を知らない方もおられます。そのため、今後も広く市民に推進センターの活動を周知する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も推進センターの機能強化に努めると共に、推進センターの活動を市民に広く周知していきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		山口福子	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯を通じた学習機会の充実									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

コレージュ・ド・カメオカ、亀岡市民大学、丹波学トークの三大シンボル講座については、より広い市民の自主的な運営を基本に、連携・協力による事業の効率的・効果的な運営を図ります。

また、自治会との連携などにより、新たな参加者の拡充など講座の活性化を図ります。

さらに、京都学園大学をはじめとする大学や研究機関・企業との連携など、事業の充実や運営の効率を高める体制づくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（4,500人）	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（3,900人）	－
平成24年度	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（4,500人）	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（3,600人）	－
平成25年度	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（4,500人）	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（3,500人）	－
平成26年度	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（4,500人）	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（3,600人）	－
平成27年度	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（4,500人）	シンボル講座、生涯学習プログラム、高齢者学習の目標参加者数（3,600人）	

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

平成27年度における各事業への参加者数の目標を合計22,500人としており、平成23年度から平成27年度の参加者累計が合計18,200人となることから、平成27年度の進捗度を81%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者数については目標に対して実績が81％となり、当初目的に掲げていた目標を達成することができませんでしたが、三大シンボル講座は、時代のニーズにあった内容を工夫し実施したほか、「輝きフォーラム」という新たな事業を展開することで、生涯学習事業に参加・参画する対象を広げることができ、幅広い年齢層の方に関心を持って参加いただくことができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

幅広い年齢層に関心を向けていただくために事業内容の工夫をしましたが、目標の参加者数を達成できなかったことについては、広報の工夫等により事業内容を広く発信できるようにする必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、生涯学習の機会を多くの方に提供できるよう内容等を工夫するとともに、生涯学習への関心を高めるため、さらにＰＲ活動を強化していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		明田　周人	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学習機会の情報提供									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

広く市民の学習ニーズを把握するとともに、ニーズに対して効率的・効果的なプログラムの手法や取組みの重点化を図ります。
特に、これまで生涯学習活動に未参加の人や、子育てで多忙な世代などの学習ニーズの把握と学習機会の提供・充実に努めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	学習情報・学習相談機能の充実	子育て情報受発信の充実(支援金対象事業)	0円
平成24年度	学習情報・学習相談機能の充実（参加者アンケートの実施）	生涯学習かめおか財団のFacebook開設等による情報発信機能の強化	0円
平成25年度	学習情報・学習相談機能の充実（参加者アンケートの実施）	生涯学習かめおか財団のFacebook等による情報発信機能の強化	0円
平成26年度	学習情報・学習相談機能の充実（参加者アンケートの実施）	生涯学習かめおか財団のFacebook等による情報発信機能の強化	0円
平成27年度	学習情報・学習相談機能の充実（参加者アンケートの実施）	生涯学習かめおか財団のFacebook等による情報発信機能の強化	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに実施すべきすべての課題に取り組めたことから、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

Facebook等のSNSを活用し、これまで生涯学習活動に未参加の人や、子育てで多忙な世代の人などに学習機会の提供・充実に努められました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

Facebook等のSNSを活用し、これまで生涯学習活動に未参加の人や、子育てで多忙な世代の人などに学習機会の提供・充実に努めてきたが、今後も継続して情報発信に力を入れることで、さらに多くの人に学習機会を提供する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も生涯学習活動に未参加の人や、子育てで多忙な世代の人を中心に、Facebook等のSNSを活用した積極的な情報発信を通して、学習機会の提供と充実に努めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		明田　周人	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	市民協働の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民や市民活動団体相互による協働、あるいは市民と行政による協働で取り組む学習活動やまちづくり活動の活性化を図ります。協働の重要性に関する市民及び行政職員に対する意識啓発に努めます。
また、協働の取組みを促進・支援するための制度や仕組みの整備を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	協働による学習・まちづくり活動の推進 協働を促進・支援する仕組みの充実	まちづくり協働推進委員会の開催（委員会開催4回）	（委員会開催経費） 134,500円
平成24年度	協働による学習・まちづくり活動の推進 協働を促進・支援する仕組みの充実 （推進委員会開催4回）	まちづくり協働推進委員会の開催（委員会開催5回）	（委員会開催経費） 288,600円
平成25年度	協働による学習・まちづくり活動の推進 協働を促進・支援する仕組みの充実 （推進委員会開催4回）	まちづくり協働推進委員会の開催（委員会開催4回）	（委員会開催経費） 211,500円
平成26年度	協働による学習・まちづくり活動の推進 協働を促進・支援する仕組みの充実 （推進委員会開催4回）	第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画の策定 （委員会開催6回）	（委員会開催経費・協働推進計画策定業務委託料） 2,351,630円
平成27年度	協働による学習・まちづくり活動の推進 協働を促進・支援する仕組みの充実 （推進委員会開催4回）	まちづくり協働推進委員会の開催(委員会開催3回)	（委員会開催経費） 205,910円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに実施すべき20回の委員会のうち、平成26年度までに22回を完了したことから、100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

委員会を通して、第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画を策定し、平成31年度までの市民協働推進にむけた計画を提示、実施することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

委員会の開催を通して、協働のルールや制度の整備が進められた一方、市民・職員の協働に対する理解はまだ不十分である。また、制度の面でも、基金の創設や協働コーディネーターの設置など、今後さらに協働の取組みを促進・支援するための制度や仕組みの整備が必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

委員会を継続して開催し、第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画で示した協働に対する理解の啓発、基金の創設、協働コーディネーターの設置を進めていく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		山口福子	直通	25-5002	内線	2212

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ガレリアかめおかの運営効率化									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ガレリアかめおかの中長期的なビジョンを検討し、事業の効率的・効果的な運営および民間活力の導入・活用を計画的に推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	学習プログラムの充実 学習情報の受発信機能の強化 運営の効率化	指定管理者としての施設の運営管理の徹底と市民ニーズに対応できる魅力的な学習施設の充実 施設利用人数　573,182人	指定管理料 212,137,000円 財団運営補助金 60,294,301円
平成24年度	学習プログラムの充実 学習情報の受発信機能の強化 運営の効率化	指定管理者としての施設の運営管理の徹底と市民ニーズに対応できる魅力的な学習施設の充実 大浴場及び石門心学塾の廃止 施設利用人数　583,856人	指定管理料 212,137,000円 財団運営補助金 68,687,630円
平成25年度	学習プログラムの充実 学習情報の受発信機能の強化 運営の効率化	学習プログラム（コレージュ・市民大学・丹波学トーク・ガレリアフォーラム等）開催 19回 フェイスブック等の充実 市民大学運営委員の研修 施設利用人数　572,526人	指定管理料 204,750,000円 財団運営補助金 70,043,834円
平成26年度	学習プログラムの充実 学習情報の受発信機能の強化 運営の効率化	学習プログラム（コレージュ・市民大学・丹波学トーク・輝きフォーラム等）開催 19回 フェイスブック等の充実 市民大学運営委員の研修 施設利用人数　555,249人	指定管理料 216,500,000円 財団運営補助金 67,974,668円
平成27年度	学習プログラムの充実 学習情報の受発信機能の強化 運営の効率化	学習プログラム（コレージュ・市民大学・丹波学トーク・輝きフォーラム等）開催 21回 フェイスブック等の充実 市民大学運営委員の研修 施設利用人数　582,388人	指定管理料 216,500,000円 財団運営補助金 63,469,740円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

実施すべき取り組みのうち、すべての目標を達成したことから、100％の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までに実施すべき取り組みを達成することができ、ガレリアかめおかの中長期的なビジョンを検討しつつ、学習プログラムに取り組むことができました。
ガレリアかめおかの利用者数は会館から950万人を突破し、多くの方に利用いただける施設となっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

生涯学習事業については、市民の学習ニーズに応えることのできる内容を検討し、学習プログラムに取り組んでいますが、ガレリアかめおかの施設が開館から18年が経過していることから、修繕を要する箇所が発生してきています。安全・安心に利用できる施設として、今後の管理計画を作成してくことも必要となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については引き続き事業を展開するとともに、効率的・効果的な運営および民間活力の導入・活用を計画的に推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	保育幼稚園係
担当者		香川	直通	２５－５０２８	内線	2736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公・私幼稚園合同研修会・懇談会									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公立幼稚園及び私立幼稚園の教職員の資質向上を図るとともに、保育内容の共通理解を深めるために、合同で研修会を行います。
実技研修として、専門知識を持つ講師を呼んだり、普段は各幼稚園だけで行っている公開保育を、交流の場とするために、市内の各幼稚園へ声をかけ多くの人が参加できるよう実施しています。
平成27年度の機構改革に伴い所管が教育総務課から子育て支援課に変更となっています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	実技研修　１回　２５名 公開保育　１回　２５名 公私幼稚園長交流会　２回 市内公私立幼稚園代表者会　１回	実技研修 1回　29名 公開保育　１回　21名 公私幼稚園長交流会 2回 各6名 私立幼稚園主催研修会　１回 30名	20,000
平成24年度	実技研修　１回　２５名 公開保育　１回　２５名 公私幼稚園長交流会　２回 市内公私立幼稚園代表者会　１回	実技研修 1回　25名 公開保育　１回　20名 公私幼稚園長交流会 2回 各6名 私立幼稚園主催研修会　１回 20名	20,000
平成25年度	実技研修　１回　２５名 公開保育　１回　２５名 公私幼稚園長交流会　２回 市内公私立幼稚園代表者会　１回	実技研修　1回　32名 公開保育　1回　20名 公私立幼稚園代表者会 2回　10名	20,000
平成26年度	実技研修　１回　２５名 公開保育　１回　２５名 公私幼稚園長交流会　２回 市内公私立幼稚園代表者会　１回	実技研修 1回　30名 公開保育　１回　21名 公私幼稚園長交流会 1回 18名 公私立幼稚園代表者会　2回 10名	20,000
平成27年度	実技研修　１回　２５名 公開保育　１回　２５名 公私幼稚園長交流会　２回 市内公私立幼稚園代表者会　１回	実技研修会　１回　３０名 公開保育　１回　２２名 学年交流部会１回　２１名 公私立園代表者研　２回　６名	20,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

実技研修及び公開保育の参加者目標に対する実参加者数で算出。２５０名／２５０名（１００．０％）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

就学前の園児を保育している公私立幼稚園が交流を行い、研修することで双方にとって良い刺激となり、先生自身の勉強につながっている。
また、他園で実施している行事等も非常に参考となる良い機会である。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

公立幼稚園では、公開保育を見てもうらう機会を設けているが、参加人数が少ないことが課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今年度も、先生同士の交流や研修会を一緒に行う方向で進める。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者		岡本	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	教職員研修									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

幼稚園教育の充実及び幼稚園教職員の資質の向上を目指すため、幼稚園教育研究会や教育研究所、保育所幼稚園研究会や南丹公立幼稚園研究会、公私立幼稚園交流会や府公立幼稚園研究会との連携により、実践的な研修機会への参加を促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	初任者研修対象者１人 市立幼稚園研究会１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　７人 教育研究所の研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　３人	初任者研修：対象者１人 市立幼稚園研究会　１２人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究所の研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　３人	―
平成24年度	１０年目研修：対象者　１人 市立幼稚園研究会　１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究会研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　３人	１０年目研修：対象者　１人 市立幼稚園研究会　１２人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究所研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　２人	―
平成25年度	市立幼稚園研究会　１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　６人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究所研修会　７人 府公立幼稚園研究会　４人	市立幼稚園教育研究会　１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究協議会　６人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究所研修会　７人 府公立幼稚園研究会　８人	―
平成26年度	市立幼稚園研究会　１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　６人 教育研究所研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　３人	南丹公立幼稚園研究会　１１人 保育所幼稚園研究協議会　８人 公私立幼稚園交流会　１１人 幼小中高連絡協議会　１１人 府公立幼稚園研究会　３人 初任者研修対象者　１人	―
平成27年度	市立幼稚園研究会　１３人 南丹公立幼稚園研究会　８人 保育所幼稚園研究会　１０人 公私立幼稚園交流会　８人 教育研究所研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　４人	南丹公立幼稚園研究会　１２人 保育所幼稚園研究会　６人 公私立幼稚園交流会　１１人 幼小中高連絡協議会　１１人 教育研究所研修会　１０人 府公立幼稚園研究会　６人	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

研修受講目標人数に対する実受講者数で算出。２５０人／２５０人（１００．０％）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

中学校との交流では、中学校からの働きかけによって毎年交流の機会をもつことができている。
今年度、小学校においては昨年度に比べて運動会および音楽会、一年生の生活科に参加し、また教頭先生による授業等の交流がもてるようになった。園児も小学校に期待をもって入学することに繋がったと考える。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

小・中学校と幼稚園が連携を行えるようになってきたため、来年度も中身を検討し、連携を行うことに努める。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

各研究会での中身について、職員が研修に対する理解を深めていけるように実施する。
新任研修においては、京都府の新任研修会に参加し、指導員による１０回の指導を受ける。
校種間連携では、保育園・幼稚園・小学校・中学校との交流について計画を立てて実施していく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者		山本　智明	直通	25-6766	内線	3714

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	18
②事業名	耐震化整備事業・大規模改造事業・新増改築事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

学校施設の安全性を確保するため、計画的に耐震化を実施するとともに、大規模改修や増改築等により教育施設の整備を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・亀岡小（～H24年度）、安詳小（１棟）、千代川小（１棟） ・亀岡中学校（～平成24年度） ・耐震化率　90.2%	・亀岡小学校（～平成24年度） ・安詳小学校（１棟） ・千代川小学校（１棟） ・亀岡中学校（～平成24年度）	（小学）181,203,118円 （明許繰越） 102,214,361円 （中学）455,847,000円
平成24年度	・亀岡小学校（１棟） ・安詳小学校（～平成25年度） ・亀岡中学校（４棟） ・耐震化率　94.6%	・亀岡小学校（１棟） ・安詳小学校（～平成25年度） ・亀岡中学校（４棟）	（小学）191,213,335円 （繰越）118,575,000円 （中学）739,448,756円 （繰越）3,503,225円
平成25年度	・亀岡小（～H26年度） ・安詳小（１棟） ・川東小・高田中（～H27年度） ・亀岡市立幼稚園（１棟） ・耐震化率　95.5%	・亀岡小学校（～平成26年度） ・安詳小学校（１棟） ・川東小・高田中（～H27年度） ・亀岡市立幼稚園（～H26年度）	（小学現）179,327,491 円 （小明繰）548,374,602 円 （中遡繰）155,875,036 円 （中明繰）397,608,229 円 （幼遡繰）192,560,893 円
平成26年度	・亀岡小学校（１棟） ・川東小学校（～平成27年度） ・高田中学校（～平成27年度） ・耐震化率　96.4%	・亀岡小学校（１棟） ・川東小学校（～平成27年度） ・高田中学校（～平成27年度） ・亀岡市立幼稚園（１棟）	（小学現）272,550,650 円 （小遡繰）246,752,000 円 （中学現）　3,480,750 円 （中遡繰）209,942,000 円 （幼稚現）313,674,408 円
平成27年度	・川東小学校（２棟） ・高田中学校（１棟） ・保津小学校（１棟） ・耐震化率　100.0%	・川東小学校（２棟） ・高田中学校（１棟） ・保津小学校（１棟）	（小学現）448,376,600円 （中学現）292,440,640円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成23年3月末時点において耐震改修・新増築等の整備が必要な棟は14棟あり、平成28年3月末時点において全14棟の耐震化を完了しました。よって平成27年度の進捗度は、14棟／14棟＝100%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初計画に従い、対象すべてについて耐震化を完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

さらなる安全確保のため、照明器具等の『非構造部材』の耐震化を推進していく計画ですが、国庫補助の採択状況は厳しいものとなっており、財源の確保が課題となります。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務
担当者		石田	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校教材等整備事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもたちの確かな学力の育成を図るため、新学習指導要領に対応した学校教材の安定的な整備を図ります。また、文部科学省において、平成２４年度から１０ヶ年間の積極的な地方財政措置が示された中、本市においても重点的に整備を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・確かな学力を育成する教材の整備	小・中学校別や各教科毎に教材を整備	・教材備品、消耗品購入費 37,870,737円
平成24年度	・確かな学力を育成する教材の整備	小・中学校別や各教科毎に教材を整備	・教材備品、消耗品購入費 38,171,399円
平成25年度	・確かな学力を育成する教材の整備	小・中学校別や各教科毎に教材を整備	・教材備品、消耗品購入費 42,598,957円
平成26年度	・確かな学力を育成する教材の整備	小・中学校別や各教科毎に教材を整備	・教材備品、消耗品購入費 41,563,084円
平成27年度	・確かな学力を育成する教材の整備	小・中学校別や各教科毎に教材を整備	・教材備品、消耗品購入費 42,019,653円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

毎年度継続して教材備品等を整備する必要がある事業であり、毎年度小学校18校、中学校8校すべてで整備を行った。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年度教材備品等の整備を行うことにより新学習指導要領に対応した学校教材の安定的な整備を図ることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、生涯学習における体験機会の提供を行うとともに、参加団体数、参加者数の増加に伴う生涯学習への関心を高めるため、さらにＰＲ活動を強化していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者		岡本	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校図書充実事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成２４年度から文部科学省において、学校図書館図書整備新５ヶ年計画の始動に伴い、積極的な地方財政措置が行われる中、本市においても今日までの重点的な取組を継続し、児童生徒における読書機会の積極的な提供を図るため、学校図書蔵書の増加させることをはじめ更に内容を充実し、蔵書冊数の学校図書館図書標準の達成を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・学校図書館図書標準 ７５％の達成	・学校図書館図書標準 ７３％	図書購入費 10,910,892円
平成24年度	・学校図書館図書標準 ８０％の達成	・学校図書館図書標準 ７５．２％	図書購入費 10,931,759円
平成25年度	・学校図書館図書標準 ８５％の達成	・学校図書館図書標準 ７７．７％	図書購入費 10,936,436円
平成26年度	・学校図書館図書標準 ９０％の達成	・学校図書館図書標準 ７８．４％	図書購入費 10,897,326円
平成27年度	・学校図書館図書標準 ９５％の達成	・学校図書館図書標準 ８０．９％	図書購入費 10,900,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標図書標準に対する実績で算出。８０．９％／９５％（８５．２％）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

学校図書館図書整備新５ヶ年計画の策定により、学校図書館の蔵書充実を図るべく、学校図書館図書標準の達成を促進してきた結果、取り組み当初の平成２３年度から平成２７年度までの５ヶ年で７．９％増加し、８０．９％の実績となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

学校図書館図書標準は各学校によって蔵書の寄付の受け入れ、廃棄状況、学級数が基準となっているため、毎年変化します。
また、時代に合った情報を入手することができる図書の充実を図るには、学校図書館図書の更新に時間を要するため、今後も継続して実施していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

当初目標である学校図書館図書標準９５％の達成はできませんでしたが、着実に実績を残すことができました。
平成２８年度以降においても、児童生徒の読解力と学力の向上、ならびに豊かな心を育むため、学校図書の充実を図ります。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	教育委員会	課	学校教育課	係	学校給食センター
担当者		大西正明	直通	２４－３８３３	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校給食管理事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・洗浄・消毒を確実に行う。
・バランスのよい食事を提供することにより、学校における食育を推進する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・安全・安心でおいしい給食の提供。 ・年間給食日数の計画どおりの実施。	・当初計画どおり年間給食を実施。 ・安全・安心で栄養バランスにすぐれたおいしい給食を実施。	101,756,000
平成24年度	・安全・安心でおいしい給食の提供。 ・年間給食日数の計画どおりの実施。	・当初計画どおり年間給食を実施。 ・安全・安心で栄養バランスにすぐれたおいしい給食を実施。	101,834,250
平成25年度	・安全・安心でおいしい給食の提供。 ・年間給食日数の計画どおりの実施。	・当初計画どおり年間給食を実施。 ・安全・安心で栄養バランスのよいおいしい給食を実施。	101,834,250
平成26年度	・安全・安心でおいしい給食の提供。 ・年間給食日数の計画どおりの実施。	・当初計画どおり年間給食を実施。 ・安全・安心で栄養バランスのよいおいしい給食を実施。	104,965,200
平成27年度	・安全・安心でおいしい給食の提供。 ・年間給食日数の計画どおりの実施。	・当初計画どおり年間給食を実施。 ・安全・安心で栄養バランスのよいおいしい給食を実施。	104,760,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成２３～２７年度までの５ヶ年、調理機器等の適切な管理及び、従事者の安全衛生意識の向上に努め、安全・安心でおいしい学校給食を提供したことから、平成２７年度までの進捗度は１００％とする。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・洗浄・消毒を確実に行った。
・安全・安心で栄養バランスにすぐれたおいしい給食を実施した。
・調理・配送等業務委託について、より良い給食の実施のため、平成２８年度から平成３０年度までの業者選定をプロポーザル方式により実施できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・洗浄・消毒を確実に行うための業務委託経費の確保が必要です。
・調理・配送等業務委託について、プロポーザル方式により選定された委託業者が給食調理・配送・洗浄・消毒等を確実に行うために必要な経費の確保が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・平成２８年度以降については、引き続き事業を展開することとし、安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食センターにおける給食調理・配送・洗浄・消毒を確実に行う。
・安全・安心で栄養バランスにすぐれたおいしい給食を実施します。
・調理・配送等業務委託について、より良い給食実施のため、平成３１年度以降についてもプロポーザル方式による業者選定を行う。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	教育委員会	課	学校給食センター	係	学校給食センター
担当者		大西正明	直通	２４－３８３３	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	給食提供事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・学校給食センター設備機器及び厨房機器等の計画的な整備
・学校給食センター管理経費・調理安全の確保

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・学校給食センター設備機器及び厨房機器等の計画的な整備 ・学校給食センター管理経費・調理安全の確保	・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。 ・安全安心でおいしい学校給食を提供した。	¥30, 123, 364
平成24年度	・食中毒事故等ゼロの継続 ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。 ・安全安心でおいしい学校給食を提供した。	¥35, 204, 042
平成25年度	・食中毒事故等ゼロの継続 ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。 ・安全安心でおいしい学校給食を提供した。	¥47, 288, 939
平成26年度	・食中毒事故等ゼロの継続 ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。 ・安全安心でおいしい学校給食を提供した。	¥35, 100, 800
平成27年度	・食中毒事故等ゼロの継続 ・学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備	・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。 ・安全安心でおいしい学校給食を提供した。	¥60, 904, 501

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成２３～２７年度までの５ヶ年、市内１８小学校の給食を、調理機器等の適切な管理のもと、故障等で停止することなく、また衛生面に注意し事故なく安全・安心でおいしい学校給食を提供したことから、平成２７年度までの進捗度は１００％とする。

（５年/５年）

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

・平成２３～２７年度までの５ヶ年、市内１８小学校の給食を、調理機器等の適切な管理のもと、故障等で停止することなく、また衛生面に注意し事故なく安全・安心でおいしい学校給食を提供した。
・食中毒事故等ゼロを継続した。
・学校給食センター設備、厨房機器等の整備をした。
・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組んだ。
・安全安心でおいしい学校給食を提供した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・学校給食センター設備・厨房機器等の整備及び調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組むために多額の経費が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・平成２８年度以降については、引き続き事業を展開することとし、市内１８小学校の給食を、調理機器等の適切な管理のもと、故障等で停止することなく、学校給食センター設備、厨房機器等の計画的更新・整備・調理機器等の適切な管理を行い、効率的かつ効果的な更新・整備計画に取り組みます。
・安全安心でおいしい学校給食を提供します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生きる力を育む教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童生徒の「生きる力」を育むため、基礎・基本の徹底による学力向上事業や生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業を実施するとともに、学力診断テスト結果の分析等を行い学習課題の解決や授業改善を進めます。
平成２７年度は、全小中学校において、基礎学力充実推進事業及び土曜日を活用した教育活動実践研究事業により学力の向上や充実を図るとともに、生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業実施によりそれぞれの小中学校における課題解決に向けて、創意工夫した取組を行うことが出来た。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・小中学校における特色ある学校づくりや基礎学力向上の取組を支援	・各校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり推進事業 ・基礎・基本の徹底による基礎学力充実推進事業など	3,991,550
平成24年度	・小中学校における特色ある学校づくりや基礎学力向上の取組に支援を行う。指定を受けた学校の学力テストの平均点の向上	・各校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり推進事業 ・基礎・基本の徹底による基礎学力充実推進事業など	3,942,000
平成25年度	・小中学校における特色ある学校づくりや基礎学力向上の取組に支援を行う。指定を受けた学校の学力テストの平均点の向上	・各校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり推進事業 ・基礎・基本の徹底による基礎学力充実推進事業など	3,838,600
平成26年度	・小中学校における特色ある学校づくりや基礎学力向上の取組に支援を行う。指定を受けた学校の学力テストの平均点の向上	・各校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり推進事業 ・基礎・基本の徹底による基礎学力充実推進事業など	4,294,000
平成27年度	・小中学校における特色ある学校づくりや基礎学力向上の取組に支援を行う。指定を受けた学校の学力テストの平均点の向上	・各校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり推進事業 ・基礎・基本の徹底による基礎学力充実推進事業など	3,697,600

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度においては、小中学校において「生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業」、「基礎学力充実推進事業」及び「土曜日を活用した教育活動実践研究事業」の取組を支援することにより、特色ある学校づくりを進めることができた。また、学力診断テスト結果等を分析することで、学習課題の解決を図るとともに授業改善に努めた。今後も継続した事業実施が必要な施策であるが、目標年度の計画分を執行できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

すべての小中学校において、各校の実態に応じた児童生徒の表現力育成等に関する研究テーマを設定する等、各校それぞれが創意工夫を活かした特色ある学校づくりに取組み、児童生徒の表現力が高まっている。
また、京都府学力診断テストや全国学力・学習状況調査の結果から、それぞれ府や全国平均を上回る教科が増えており、経年比較でも、府や全国の平均を上回る学校数が右肩上がりの傾向を示してきている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・「生きる力」の育成に向け、基礎・基本の徹底を図る教育の推進を行う必要がある。
・毎年児童生徒が入れ替わることや単年度では結果が出にくいため、一層の指導方法の工夫・改善など継続した取組を行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

全小中学校において学力の向上や充実を図るとともに、生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業実施によりそれぞれの小中学校における課題解決に向けて、平成28年度以降も創意工夫した取組を行うこととする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	教育研究会等調査研究事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

小学校及び中学校の教育振興を図るため、各種教育研究活動への取組に支援を行うとともに、国・京都府等の研究指定事業を活用します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・小中学校の各種教育研究活動の取組への支援 ・国や京都府等の研究指定事業の活用	・小中学校の各種教育研究活動への補助金交付 ・国や府の研究指定事業の活用	2,869,354
平成24年度	・小中学校の各種教育研究活動の取組への支援 ・国や京都府等の研究指定事業の活用	・小中学校の各種教育研究活動への補助金交付 ・国や府の研究指定事業の活用	2,948,060
平成25年度	・小中学校の各種教育研究活動の取組への支援 ・国や京都府等の研究指定事業の活用	・小中学校の各種教育研究活動への補助金交付 ・国や府の研究指定事業の活用	3,047,312
平成26年度	・小中学校の各種教育研究活動の取組への支援 ・国や京都府等の研究指定事業の活用	・小中学校の各種教育研究活動への補助金交付 ・国や府の研究指定事業の活用	3,140,090
平成27年度	・小中学校の各種教育研究活動の取組への支援 ・国や京都府等の研究指定事業の活用	・小中学校の各種教育研究活動への補助金交付 ・国や府の研究指定事業の活用	3,168,030

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度においても、各種教育活動支援事業や国や京都府の研究指定事業を活用して小中学校における教育振興を図ることができた。計画期間中においては、毎年度継続して実施が必要な施策であるが、平成27年度に目標年度の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小中学校の各種教育研究活動に補助を行い、国や京都府の研究指定事業を活用することにより、小中学校における教育の振興を図ることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

限られた予算範囲内での補助であるため、更に効果的な活用が必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、豊かな人間性や高い専門性等の資質の向上を目指して小中学校教育の伸展・充実を図ることとし、引き続き各種教育研究活動への補助金交付や国や府の研究指定事業の活用を行うこととする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	専科指導推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童の豊かな感性や情操を培うとともに学習への意欲・関心の向上につないでいくため、小学校５・６年生を対象に、音楽科又は図画工作科に専門的な力量のある専科講師を配置したり、外国語活動として「英語活動サポーター」を配置して授業内容の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・５・６年生の音楽科又は図画工作科に専科講師を配置 ・小学校外国語活に「英語活動サポーター」を配置	・専科講師１２名を配置（音楽１７校、図画工作１校） ・「英語活動サポーター」６名を配置	13,399,952
平成24年度	・５・６年生の音楽科又は図画工作科に専科講師を配置、小学校外国語活動に「英語活動サポーター」をすべての小学校に配置する	・専科講師１１名を配置（音楽１７校、図画工作１校） ・「英語活動サポーター」５名を配置	13,370,066
平成25年度	・５・６年生の音楽科又は図画工作科に専科講師を配置、小学校外国語活動に「英語活動サポーター」をすべての小学校に配置する	・専科講師１０名を配置（音楽１７校、図画工作１校） ・「英語活動サポーター」５名を配置	12,667,452
平成26年度	・５・６年生の音楽科又は図画工作科に専科講師を配置、小学校外国語活動に「英語活動サポーター」をすべての小学校に配置する	・専科講師１０名を配置（音楽１７校、図画工作１校） ・「英語活動サポーター」４名を配置	9,484,114
平成27年度	・５・６年生の音楽科又は図画工作科に専科講師を配置、小学校外国語活動に「英語活動サポーター」をすべての小学校に配置する	・専科講師９名を配置（音楽１７校、図画工作１校） ・「英語活動サポーター」４名を配置	9,287,503

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

本市教育の特徴的な施策として、児童生徒の学習意欲の向上や豊かな感性の醸成等を図ることができた。２つの事業において、必要な人員配置を確保できたことから100％の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小学校専科教育では、児童の興味・関心・意欲が向上し、個性や能力を引き出すことができた。また、英語活動サポーターを配置したことで、児童が外国語への興味や関心を高めることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

指導力の高い講師の確保や指導者研修の実施に向けて工夫する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

専科講師ついては、小学校5・6年生の音楽または図画工作により専門性のある授業を行うことにより児童の情操を培い、関心・意欲を高める効果があることから平成28年度以降も引き続き配置することとする。また、英語活動サポーターについては平成３０年の教科化を前提に、文部科学省の動向等を踏まえる中で配置については見直すこととする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	4
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	校種間連携事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

保・幼、小、中、高が有機的に連携を図る中で園児、児童、生徒の生活習慣や学習習慣の変化への対応及び学習意欲やコミュニケーション能力等の向上を図る中で「小１プロブレム」や「中１ギャップ」などの解消に努め、児童生徒の学校活動が円滑に行えるよう支援する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・中学校教師が小学校で出前授業を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	・中学校教師が小学校で出前授業を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	170,081
平成24年度	・中学校教師が小学校で出前授業を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	・中学校教師が小学校で出前授業を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	199,500
平成25年度	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	199,500
平成26年度	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	180,000
平成27年度	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	・中学校教師が小学校で出前授業を行うとともに相互授業参観を行う。 ・南丹工芸ﾊﾟｰﾄﾅｰスクールにより小高の交流学習活動を実施。 ・保幼小連携による「もうすぐ１年生」入学体験事業を実施。	200,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

校種間連携を有機的に図ることで、園児、児童、生徒の生活習慣や学習習慣の変化への対応及び学習意欲やコミュニケーション能力等の向上が図れた。もって「小１プロブレム」や「中１ギャップ」など課題の一定の解消につながった。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

校種間連携を有機的に図ることで、園児、児童、生徒の生活習慣や学習習慣の変化への対応及び学習意欲やコミュニケーション能力等の向上が図れた。もって「小１プロブレム」や「中１ギャップ」など課題の一定の解消につながった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

毎年小中児童生徒が変わることから継続した取組が極めて必要な分野である。取組校が限定されたり、固定化される懸念があり、出来る限り多くの学校で取組り組めるようにする。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

出来る限り多くの学校で、継続した取組ができるように進める。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3731

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生きる力を育む教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

川東小学校と高田中学校を施設一体型小中一貫校として整備していくため、庁内関係者による研究会を設置して協議・検討を行っており、特に、ソフト面では、研究会の専門部会（学校運営・教育課程）の内容を踏まえて進めることとしています。また、全市的な地域連携型の小中一貫教育のあり方についても検討を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・川東小学校と高田中学校の施設一体型小中一貫校の開校に向けて協議	・小中一貫教育研究会で、施設一体型小中一貫校の開校に向けて協議・検討	0
平成24年度	・施設一体型施設の組織体制の充実と学校研究会の開催。 ・連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討	・施設一体型施設の組織体制の充実と教育研究会等の開催 ・連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討	1,985,820
平成25年度	・施設一体型小中一貫校の組織体制の充実と教育研究会等の開催 ・施設一体型一貫校の愛称決定。一貫校だよりの発行 ・地域連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討	・施設一体型小中一貫校の組織体制の充実と教育研究会等の開催 ・愛称を決定。一貫校だよりを発行 ・地域連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討	2,032,060
平成26年度	・施設一体型小中一貫校の組織体制の充実と教育研究会等の開催 ・施設一体型一貫校の愛称決定。一貫校だよりの発行 ・地域連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討 ・開校に向けた準備	・施設一体型小中一貫校の組織体制の充実と教育研究会等の開催 ・一貫校だよりの発行 ・地域連携型の小中一貫教育に向けた協議・検討 ・開校に向けた準備	2,149,249
平成27年度	・施設一体型の合同職員室のスタート ・川東小学校と高田中学校の施設一体型小中一貫校のスムーズな開校	・川東小学校と高田中学校が施設一体型小中一貫校としてスムーズに開校 ・施設一体型の合同職員室もスタート	2,300,284

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

川東小学校及び高田中学校における施設一体型小中一貫校として平成２７年度開校することができた。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

施設一体型小中一貫校として平成２７年度開校することができ、義務教育９年間を見通した系統的・継続的な取組を進めることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

施設一体型小中一貫校として、取組んだ内容・成果等の情報発信。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

施設一体型小中一貫校として適切な学校運営を行う

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生きる力を育む教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童生徒が様々な体験活動を体感する中で、職業観や勤労観の醸成及び福祉体験や伝統芸能体験等を通じて、豊かな人間性や社会性を育成するとともに、地域社会への愛着や関心を高めコミュニケーション能力の向上を図ります。また、「小１プロブレム」などへの対応を行うため、小学校と保育園との連携事業を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・仕事体験や職場体験などを通じた、地域への愛着や関心の向上とキャリア教育の推進	・「ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動」推進事業の実施 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業の実施 ２校２園で実施	1,535,081
平成24年度	・仕事体験や職場体験などを通じた、地域への愛着や関心の向上とキャリア教育の推進 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業を２校２園で実施	・「ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動」推進事業の実施 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業の実施 ３校３園で実施	1,519,700
平成25年度	・仕事体験や職場体験などを通じた、地域への愛着や関心の向上とキャリア教育の推進 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業を２校２園で実施	・「ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動」推進事業の実施 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業の実施 ３校３園で実施	1,501,500
平成26年度	・仕事体験や職場体験などを通じた、地域への愛着や関心の向上とキャリア教育の推進 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業を２校２園で実施	・「ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動」推進事業の実施 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業の実施 ３校３園で実施	1,461,000
平成27年度	・仕事体験や職場体験などを通じた、地域への愛着や関心の向上とキャリア教育の推進 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業を２校２園で実施	・「ＫＹＯ発見　仕事・文化体験活動」推進事業の実施 ・「もうすぐ１年生」体験入学推進事業の実施 ６校６園で実施	1,502,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→					平成27年度

（その根拠）

職場体験や仕事体験事業の実施は、基本的には小学校では４年生を、中学校では２年生を対象に実施している。また、「もうすぐ１年生」体験入学事業も保育所との連携を図る中で実施しており、計画どおり実施できた。今後も毎年継続した取り組みが必要な施策である。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

児童生徒が様々な体験活動を体感する中で、職業観や勤労観の醸成及び福祉体験や伝統芸能体験等を通じて、豊かな人間性や社会性を育成することができた。また、地域社会への愛着や関心を高めコミュニケーション能力の向上も推進できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

小学校においては、体験業種・内容が固定化傾向にあり、地域性や社会状況等を考慮する中で様々な分野等について検討し、体験活動の充実を図る必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

職業観や勤労観の醸成及び福祉体験や伝統芸能体験等を通じて、豊かな人間性や社会性を育成は欠かせない分野であり、今後も継続する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ふるさと学習推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもたちが、身近な歴史・文化・自然などの題材からふるさとを学ぶことで地域への愛情や想いを深めていくことが大切であるととらえ、小中９年間を通した教育課程の中に「かめおか学」を位置づける取組を進めます。また、社会科副読本「わたしたちのまち亀岡」の改訂を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として、“ふるさと学習「かめおか学」”等の取組を推進	・小学校４校、中学校４校に研究指定校としての取組を進めるため補助金を交付 ・「わたしたちのまち亀岡」の改訂版を作成	2,397,012
平成24年度	・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として、“ふるさと学習「かめおか学」”等の取組を推進 研究指定校として各小中学校４校、準指定校として小学校１０校を指定	・中学校ブロック単位の研究指定校として小学校９校、中学校４校に取組を進めるため補助金を交付 ・「わたしたちのまち亀岡」の改訂版を作成	2,309,652
平成25年度	・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として、“ふるさと学習「かめおか学」”等の取組を推進 研究指定校の取組を研究冊子に集約して学習教材ととして活用を図る	・全小中学校において、“ふるさと学習「かめおか学」”の取組のまとめを行った。 ・「わたしたちのまち亀岡」の改訂版を作成	1,272,197
平成26年度	・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として、“ふるさと学習「かめおか学」”等の取組を推進	・全小中学校において、過去の取組や他校の取組を参考とし、「かめおか学」の充実を図るため補助金を交付 ・「わたしたちのまち亀岡」の改訂版を作成	1,989,904
平成27年度	・ふるさとへの愛着や興味・関心を高める一環として、“ふるさと学習「かめおか学」”等の取組を推進	・全小中学校において、過去の取組や他校の取組の事例集を参考とし、「かめおか学」を推進した。 ・「わたしたちのまち亀岡」の改訂版を作成	1,279,400

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

“ふるさと学習「かめおか学」”は、各校が取組んだ内容をふるさと学習「かめおか学」取組の事例としてまとめた。また、「わたしたちのまち亀岡」については、毎年度改訂版を編集発行することができた。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小中９年間を通した教育課程の中に「かめおか学」を位置づけ、小中９年間を通して身近な歴史・文化・自然などの題材からふるさとを学ぶことで地域への愛情や想いを深めていくことができた。また、社会科副読本「わたしたちのまち亀岡」の改訂を行い常に最新の状態と必要な内容を提供できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

校区等の身近な歴史・文化・自然などの題材をフルに活用し、ふるさと学として多くのことを学習し、地域への愛情や想いを更に深めすることが必要ある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

小中９年間を通して身近な歴史・文化・自然などの題材からふるさとを学ぶことで地域への愛情や想いを深めていくことは今後も重要である。また、社会科副読本「わたしたちのまち亀岡」は常に最新の状態と必要な内容を提供する必要がある。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	次代を担う文化芸術体験事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

優れた音楽演奏や演劇、舞踏等の鑑賞を通して、感性や感受性などを育むとともに、情操豊かな児童生徒を育成する。また、児童生徒の作品を展覧し、互いに学習、交流し合い芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解と関心を高める。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・文化芸術体験事業を実施し、児童生徒の感性や感受性等を育む。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高める。	・文化芸術体験事業を通して、児童生徒の感性や感受性等が育めた。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高めた。	―
平成24年度	・文化芸術体験事業を実施し、児童生徒の感性や感受性等を育む。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高める。	・文化芸術体験事業を通して、児童生徒の感性や感受性等が育めた。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高めた。	―
平成25年度	・文化芸術体験事業を実施し、児童生徒の感性や感受性等を育む。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高める。	・文化芸術体験事業を通して、児童生徒の感性や感受性等が育めた。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高めた。	―
平成26年度	・文化芸術体験事業を実施し、児童生徒の感性や感受性等を育む。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高める。	・文化芸術体験事業を通して、児童生徒の感性や感受性等が育めた。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高めた。	―
平成27年度	・文化芸術体験事業を実施し、児童生徒の感性や感受性等を育む。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高める。	・文化芸術体験事業を通して、児童生徒の感性や感受性等が育めた。 ・学校美術展覧会を開催し、芸術への関心と創作意欲を高めるとともに美術教育への理解を高めた。	

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

音楽や演劇、舞踏などのジャンルがあり、また、毎年児童生徒が入れ替わることから継続した取組が必要な分野であり、目標年度内の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

子どもたちに文化・芸術を体感できる多様な機会を提供することにより、興味・関心の向上とともに豊かな感性の醸成を図り、道徳・情操教育の向上がみられた。
また、優れた演劇に触れることにより、明日への活力を生み出すきっかけとなった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

児童生徒の多様な興味や関心に応えられるよう、学校図書室の文化・芸術関係の蔵書を充実していく必要がある。
また、子どもたちが本物の文化芸術等に触れ、より一層創造力や感受性等を高めていく機会を充実させる必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

子どもたちが、本物の文化や芸術を体感することは大変有意義なことであり、豊かな感性の醸成を図るため、平成28年度以降も機会提供の充実に努めていくこととする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	英語指導助手設置事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

未来を担う子どもたちの聞く、話すなどの総合的なコミュニケーション能力の向上や、国際的な広い視野を持ってたくましく生きていく力を育成していくため、小中学校等への英語指導助手の派遣を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ515日派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　499日 小学校　225日　中学校　253日 幼稚園　8日　その他　13日	12,394,563
平成24年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ515日派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　542日 小学校　229日　中学校　296日 幼稚園　5日　その他　12日	12,064,934
平成25年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ515日派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　511日 小学校　186日　中学校　308日 幼稚園　6日　その他　11日	11,640,668
平成26年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ515日派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　559日 小学校　224日　中学校　320日 幼稚園　3日　その他　12日	12,041,374
平成27年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ515日派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　515日 小学校　180日　中学校　321日 幼稚園　10日　その他　4日	13,159,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

計画期間には、毎年度３名のＡＬＴを任用して小中学校等の英語教育を推進することとしており、計画どおり３名の任用により事業実施でき、派遣予定日数2,575日に対する派遣実績は2,626日となっており、派遣実績が派遣予定日数を上回ったため、100％とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの派遣日数については、派遣予定日数に対して派遣実績が100％となり、英語指導助手の有効活用ができ、小中学校等の英語教育推進に貢献できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

派遣計画作成に際しては小中学校への派遣希望日聴取に基づき調整しているが、学校行事等を避けての希望のため、希望日が重なる傾向にある。よって学校行事等で派遣できない日の英語指導助手の活用手法が課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、英語教育の推進に向けて引き続き事業を展開していくこととし、特色ある学校づくり等へ貢献できるよう派遣方法を検討する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-5053	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生徒指導対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童生徒の問題事象の動向を的確に把握する中で、いじめや暴力行為等を未然に防止するため、小中生徒指導担当者による情報共有や指導・助言を行うとともに、「いじめ防止対策推進法」及び「亀岡市いじめ防止基本方針」に基づき、「亀岡市いじめ防止対策推進委員会」等を開催し、いじめ防止等のための施策に取組みます。その一つとして、いじめに対する認識と正しい理解を図るため周知・啓発活動を展開していきます。また、「進路指導対策補助事業」の実施により、中学３年生の進路指導・進路保障等につなげていきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・進路指導や進路保障の取組支援を行うとともに、関係機関の連携等により、児童生徒の問題事象の拡大を食い止め早期解決を図る。	・小中連携による生徒指導対策会議を開催（年３回） ・進路指導への取組に補助金を交付	1,812,320
平成24年度	・進路指導や進路保障の取組支援を行うとともに、関係機関の連携等により、児童生徒の問題事象の拡大を食い止め早期解決を図る。 ・小中生徒指導対策会議を学期ごとに年３回の開催とする。	・小中連携による生徒指導対策会議を開催（年３回） ・進路指導への取組に補助金を交付	1,813,068
平成25年度	・進路指導や進路保障の取組支援を行うとともに、関係機関の連携等により、児童生徒の問題事象の拡大を食い止め早期解決を図る。 ・小中生徒指導対策会議を学期ごとに年３回の開催とする。	・小中連携による生徒指導対策会議を開催（年３回） ・進路指導への取組に補助金を交付 ・市及び学校のいじめ防止基本方針の作成に向け委員会等を開催	1,815,600
平成26年度	・進路指導や進路保障の取組支援を行うとともに、関係機関の連携等により、児童生徒の問題事象の拡大を食い止め早期解決を図る。 ・小中生徒指導対策会議を学期ごとに年３回の開催とする。	・小中連携による生徒指導対策会議を開催（年３回） ・進路指導への取組に補助金を交付 ・「亀岡市いじめ防止基本方針」の策定及び委員会等の開催 ・「いじめ根絶月間」に実施するいじめ防止等啓発活動を実施	2,044,445
平成27年度	・進路指導や進路保障の取組支援を行うとともに、関係機関の連携等により、児童生徒の問題事象の拡大を食い止め早期解決を図る。 ・小中生徒指導対策会議を学期ごとに年３回の開催とする。	・小中連携による生徒指導対策会議を開催（年３回） ・「亀岡市いじめ防止基本方針」に基づき委員会等の開催 ・「いじめ根絶月間」に実施するいじめ防止等啓発活動を実施	2,274,728

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

小中９年間を見通した継続性のある生徒指導に向けて、各校生徒指導担当者による会議を開催し、意見交換と情報共有を図った。また、いじめ防止対策推進法に基づく亀岡市いじめ防止基本方針の策定や方針に基づき亀岡いじめ防止対策推進委員会の設置、開催や亀岡市いじめ防止対策連絡協議会の設置・開催などに取組むとともに啓発事業を展開した。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小中生徒指導担当者による情報共有や指導・助言等を行う中で、児童生徒の問題事象の動向を的確に把握し、いじめや暴力行為等を未然に防止することができた。また、「いじめ防止対策推進法」及び「亀岡市いじめ防止基本方針」に基づき、「亀岡市いじめ防止対策推進委員会」等を開催し、いじめ防止等に取組み、「亀岡市小中学校いじめ防止宣言」制定を行うことができた。併せて啓発活動を展開した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

いじめの撲滅に向け、地域、関係団体等との連携を深める。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

いじめは何所でも、何所でも、誰にでも起こることであり、関係者・団体等が常にアンテナを高くし、情報収集、発信を行い、いじめの撲滅に向け取組む。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	7	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	人権教育事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

基本的人権や同和問題の正しい認識と理解を促進し、児童生徒の人権意識や人権尊重の態度を育成していくため、人権学習指導計画に基づく授業展開を進めるとともに、学校、家庭、地域が一体となった取組を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の展開 ・学校、家庭、地域社会が連携した人権教育の推進	・人権学習指導計画により、人権問題に対する授業を展開 ・関係部署と連携して「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施	484,369
平成24年度	・人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の展開 ・学校、家庭、地域社会が連携した人権教育の推進 各小中学校での人権教育学習の取組目標年間23時間（学年あたり）	・人権学習指導計画により、人権問題に対する授業を展開。各小中学校での取組、学年あたり年間22.1時間 ・関係部署と連携して「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施	387,385
平成25年度	・人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の展開 ・学校、家庭、地域社会が連携した人権教育の推進 各小中学校での人権教育学習の取組目標年間23時間（学年あたり）	人権学習指導計画を基に、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け取り組む。授業においては、学年あたり21.8時間。関係部署と連携して「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施。亀岡市人権教育研究会において研究、取組について交流。	549,785
平成26年度	・人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の展開 ・学校、家庭、地域社会が連携した人権教育の推進 各小中学校での人権教育学習の取組目標年間23時間（学年あたり）	人権学習指導計画を基に、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け取り組む。授業においては、学年あたり21.96時間。関係部署と連携して「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施。亀岡市人権教育研究会において研究、取組について交流。	554,520
平成27年度	・人権尊重の実践的態度を育成する教育活動の展開 ・学校、家庭、地域社会が連携した人権教育の推進 各小中学校での人権教育学習の取組目標年間23時間（学年あたり）	人権学習指導計画を基に、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け取り組む。授業においては、学年あたり22.27時間。関係部署と連携して「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」を実施。亀岡市人権教育研究会において研究、取組について交流。	454,915

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

人権教育は今後も継続した取り組みが必要な分野であるが、計画どおりの内容が実施できたことから　100%の進捗とした。なお、平和月間の取組の一環としての「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」や、人権強調月間等を中心とした多様な取組、また、各小中学校での人権教育学習の取組の充実等により、平和や人権について考える機会を提供することができた。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各学校の人権学習年間指導計画に基づき、基本的人権をはじめ、様々な人権問題に対する正しい理解と認識の向上が図られる授業を展開した。
また、平和や人権の大切さを体感する機会として「ヒロシマに学ぶ親子平和の旅」や人権強調月間等を中心とした多様な取り組みにより、平和や人権について改めて考える機会づくりとなった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

学校、家庭、地域等が一体となって、豊かな人間性や人権意識を高めるための人権教育の取り組みを、今後も継続していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

様々な取組みを継続することによって人権感覚や実践・行動力を育むことができるため、平成28年度以降も引き続き取り組むこととする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	8	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	特別支援学級事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

特別支援学級に在籍又は通級している児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減し教育の機会均等を図るため、学用品や給食費等の経費を支給します。また、障害についての理解を促進するため、啓発活動等の取組を進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給	・支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給　小学校：１６校９３人 中学校：８校６７人	3,501,356
平成24年度	・全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給	・支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給　小学校：１５校９６人 中学校：８校６５人	2,833,426
平成25年度	・全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給	・支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給　小学校：１４校１１１人 中学校：８校３３人	2,976,711
平成26年度	・全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給	・支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給　小学校：１５校１３５人 中学校：７校２２人	2,920,785
平成27年度	・全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給	・支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給　小学校：１６校１４８人 中学校：７校３６人	3,187,281

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→					平成27年度

（その根拠）

教育の機会均等の確保や障害者理解の促進等に係る取組は継続して実施していく必要があり、平成　２７年度は計画どおりの支給対象者全てに特別教育就学奨励費を支給できたことから１００％の進捗とした。なお、特別支援学級に係る児童生徒への支援については、毎年、対象要件を確認する中で必要額を支給している。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

全ての対象となる障害のある児童生徒の保護者負担の軽減を図るため、特別教育就学奨励費を支給し、教育の機会均等の確保や障碍者理解の促進等に繋げることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

毎年、対象要件を確認する中で必要額を支給する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降についても教育の機会均等の確保や障害者理解の促進等に係る取組は継続して実施していく必要があり、事業継続する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	8	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学びを支える教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

発達障害を含む障害のある児童生徒が増加する中で、個々の状態に応じた効果的な学習支援等を行うため、各学校の実態に応じて「特別支援教育支援員」を配置するとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制を確立します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・障害の状態に応じた適切な学習支援等を行うため、「特別支援教育支援員」を配置	・すべての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置	15,583,000
平成24年度	・障害の状態に応じた適切な学習支援等を行うため、「特別支援教育支援員」を配置	・すべての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置	16,001,000
平成25年度	・障害の状態に応じた適切な学習支援等を行うため、「特別支援教育支援員」を配置	・すべての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置	16,759,000
平成26年度	・障害の状態に応じた適切な学習支援等を行うため、「特別支援教育支援員」を配置	・すべての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置	17,908,000
平成27年度	・障害の状態に応じた適切な学習支援等を行うため、「特別支援教育支援員」を配置 必要時間数：２０，０００Ｈ	・すべての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置	19,405,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

最終目標の平成２７年度の配置必要時時間数を２０，０００時間は確保。実績値として１９，４０５時間を執行している。各学校の実態や児童生徒の課題に応じた適切な支援により、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与している。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

　発達障害を含む障害のある児童生徒が増加する中で、各学校の実態及び個々の状態に応じ適切、効果的な学習支援等を行うため「特別支援教育支援員」を配置し、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

発達障害を含む障害のある児童生徒が増加傾向にあり、特別支援教育支援員の配置時間数の不足。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

児童生徒の安定した学校生活に向け、特別支援教育支援員の配置時間数の増加を検討する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	8	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学びを支える教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

各小学校の特別支援学級に在籍する児童が一堂に会し行事を通じて感動する体験を味わうとともに交流の輪を広げる。
また、特別支援学級や特別支援学校等で学ぶ子ども達と地域を同じくする子ども達が一堂に会し、共同の活動を行う中で、友情と連帯の意識を育てるとともに正しい理解を深める。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・七夕交流会を開催し交流を図る。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催する。	・七夕交流会を開催し交流を図った。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催した。	―
平成24年度	・七夕交流会を開催し交流を図る。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催する。	・七夕交流会を開催し交流を図った。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催した。	―
平成25年度	・七夕交流会を開催し交流を図る。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催する。	・七夕交流会を開催し交流を図った。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催した。	―
平成26年度	・七夕交流会を開催し交流を図る。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催する。	・七夕交流会を開催し交流を図った。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催した。	―
平成27年度	・七夕交流会を開催し交流を図る。 ・８ブロックに分けて地域学校を開催する。	・七夕交流会を開催し交流を図った。 ・７ブロックに分けて地域学校を開催した。	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年児童生徒が入れ替わることから継続した取組が必要な分野であり、目標年度の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

七夕交流会や地域学校の開催は、居住地や近隣地域の仲間を知る機会となり、校種間・学校間の交流を図ることができた。また、障害のある子ども達と障害のない子ども達との交流を通して、相手を理解し尊重する態度を育てることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

全ての児童生徒が、障害や障害児者を正しく理解するための研究を進める必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

本事業は、毎年児童生徒が入れ替わることから継続した取組みが必要と考え、平成28年度以降も引き続き事業を実施することとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	8	枝番号	4
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学びを支える教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

発達障害を含む障害のある児童生徒が増加する中で、個々の状態に応じた効果的な学習支援等を行うため、教育相談等を通して状況把握を行うとともに支援体制の充実を図る。また、亀岡市就学指導委員会において、就学指導及び助言、研究・啓発、関係機関との連絡調整等を行い、就・修学に対する指導・支援を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進する。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会の開催。	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進した。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会を開催した。	76,378
平成24年度	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進する。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会の開催。	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進した。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会を開催した。	88,910
平成25年度	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進する。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会の開催。	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進した。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会を開催した。	94,840
平成26年度	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進する。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会の開催。	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進した。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会を開催した。	104,290
平成27年度	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進する。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会の開催。	・特別支援教室推進校を核とした相談及び就・修学指導体制を推進した。 ・亀岡市就学指導委員会及び部会を開催した。	115,153

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

毎年児童生徒が入れ替わることから、継続した取組が極めて必要な分野であり、目標年度の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各学校の実態や児童生徒の課題に応じた適切な支援により、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与することができた。
支援が必要な幼児の就学相談については、保健センターと連携し行うことができた。また、児童に対しても計画的に相談活動を進めることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

就学指導委員会の活動は、保育所（園）や幼稚園から小学校への支援の継続を図るため、移行支援シートの活用や中学校卒業後の進学・就労を視野に入れた取り組み等、特別支援教育の円滑な推進に重要な役割を担っており、更に充実した活動を行っていく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

支援が必要な児童生徒が増加している中で、本取組は障害のある幼児・児童・生徒が自立や社会参加を目指すため必要と考え、平成28年度以降も継続することとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	9	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康管理事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童の健康診断等の実施や日常の保健活動を行うため、学校保健安全法に定められた学校医等の委嘱を行うとともに、公立幼稚園及び小学校における歯の健康に対する意識向上につないでいくためフッ化物洗口を実施します。また、学校、家庭、地域の連携による喫煙や薬物乱用防止、性教育に関する取組等を進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・学校医等による検診の実施 ・心臓検診の実施 ・就学時健康診断の実施 ・検便・検尿の実施 ・フッ化物洗口の実施	・学校医等による検診を実施した ・心臓検診を実施した ・就学時健康診断を実施した ・検便・検尿を実施した ・フッ化物洗口を実施した	59,015,157
平成24年度	・学校医等による検診の実施 ・心臓検診の実施 ・就学時健康診断の実施 ・検便・検尿の実施 ・フッ化物洗口の実施	・学校医等による検診を実施した ・心臓検診を実施した ・就学時健康診断を実施した ・検便・検尿を実施した ・フッ化物洗口を実施した	60,214,333
平成25年度	・学校医等による検診の実施 ・心臓検診の実施 ・就学時健康診断の実施 ・検便・検尿の実施 ・フッ化物洗口の実施	・学校医等による検診を実施した ・心臓検診を実施した ・就学時健康診断を実施した ・検便・検尿を実施した ・フッ化物洗口を実施した	59,487,113
平成26年度	・学校医等による検診の実施 ・心臓検診の実施 ・就学時健康診断の実施 ・ぎょう虫・検尿の実施 ・フッ化物洗口の実施	・学校医等による検診を実施した ・心臓検診を実施した ・就学時健康診断を実施した ・ぎょう虫・検尿を実施した ・フッ化物洗口を実施した	56,472,667
平成27年度	・学校医等による検診の実施 ・心臓検診の実施 ・就学時健康診断の実施 ・ぎょう虫・検尿の実施 ・フッ化物洗口の実施	・学校医等による検診を実施した ・心臓検診を実施した ・就学時健康診断を実施した ・ぎょう虫・検尿を実施した ・フッ化物洗口を実施した	56,210,643

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

児童生徒等の健康の早期発見・早期予防を目的に、全ての学校等において、平成２７年度当初計画していた検診等が全て実施できたことから、１００％の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

児童生徒等の健康の早期発見・早期予防が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成２８年４月１日から学校保健安全法の一部改正施行に伴い、健診項目の削除追加が発生したことから、平成２７年度中に医療関係者との調整やマニュアル作成等、スムーズな施行準備をする必要があった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降についても、学校保健安全法に基づき、児童生徒等の健康の早期発見・早期予防を目的に、全ての学校において事業継続する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	9	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	小・中学校体育連盟活動等補助事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

学校体育の振興及び児童生徒の体位向上を促進するため、小学校・中学校における各体育連盟の実施事業や中学校の部活動に係る選手派遣経費に支援を行い競技力の向上等を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・学校体育の振興と児童生徒の体位向上 ・中学校の部活動の支援による競技力の向上	・小学校陸上運動交歓記録会や小学生駅伝大会を実施 ・中学校の各種部活動に係る選手派遣旅費等を助成	7,434,911
平成24年度	・学校体育の振興と児童生徒の体位向上 ・中学校の部活動の支援による競技力の向上	・小学校陸上運動交歓記録会や小学生駅伝大会を実施 ・中学校の各種部活動に係る選手派遣旅費等を助成	9,058,169
平成25年度	・学校体育の振興と児童生徒の体位向上 ・中学校の部活動の支援による競技力の向上	・小学校陸上運動交歓記録会や小学生駅伝大会を実施 ・中学校の各種部活動に係る選手派遣旅費等を助成	7,012,585
平成26年度	・学校体育の振興と児童生徒の体位向上 ・中学校の部活動の支援による競技力の向上	・小学校陸上運動交歓記録会や小学生駅伝大会を実施 ・中学校の各種部活動に係る選手派遣旅費等を助成	7,793,800
平成27年度	・学校体育の振興と児童生徒の体位向上 ・中学校の部活動の支援による競技力の向上	・小学校陸上運動交歓記録会や小学生駅伝大会を実施 ・中学校の各種部活動に係る選手派遣旅費等を助成	8,700,332

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

計画期間中は継続した事業実施が必要であり、目標年度の計画分を実施できたことから、100%の進捗とした。なお小学校における各種実施事業は、回数を積み重ねる中で定着した大会となってきており、また、中学校の部活動においても、様々な種目で近畿や全国の大会に出場するなど、競技力の向上が図られている。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小学生では、駅伝大会において好成績が出るなど、競技力の向上がみられる。
また、中学生では近畿大会や全国大会に多数の生徒が出場している。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

運動をする子どもとしない子どもの二極化がみられることから、運動意欲を喚起する取組が必要であり、運動に親しめる機会の拡充を図っていく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

全国的に体力低下が叫ばれる中、小学校及び中学校における児童生徒の体力並びに運動能力の向上を図るためには、さらなる小中連携等の取組を進めるとともに、活動助成等を継続していく必要があるため、平成28年度以降も取組を継続することとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	9	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生きる力を育む教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

食に関する正しい知識と食品を選択する力を習得し、健全な食生活・食習慣を実践することができる児童生徒を育てる

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	―
平成24年度	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	―
平成25年度	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	―
平成26年度	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	―
平成27年度	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	・学校における食育指導全体計画及び年間計画の策定・実施 ・食育だより等の発行	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年児童生徒が入れ替わることから、継続した取組が極めて必要な分野であり、平成27年度は目標年度の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各学校の食に関する指導計画に基づき、学校給食センターの栄養教諭と学校が連携した様々な取り組みにより、日常の食生活に気づいて、朝食を食べ、苦手なものを考えて食べるなど、児童の望ましい食習慣が身についてきている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

食育をはじめとする健康教育は学校と家庭の連携及び協力が必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

毎年児童生徒が入れ替わることから取組の継続が必要と考え、平成28年度以降も栄養教諭を中心に発達段階に応じた栄養の話など食に関する指導を計画的に実施することとする。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	10	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生きる力を育む教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、児童生徒が主体的に問題意識を持って学習に取り組めるよう、パソコンやインターネットなどを活用した情報教育や環境教育を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上など、時代の変化に対応できる能力や態度を育成	・電子黒板やパソコンを活用した授業の展開 ・ＮＰＯ等と連携した環境学習の取組	―
平成24年度	・児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上など、時代の変化に対応できる能力や態度を育成	・電子黒板やパソコンを活用した授業の展開 ・ＮＰＯ等と連携した環境学習の取組	―
平成25年度	・児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上など、時代の変化に対応できる能力や態度を育成	・電子黒板やパソコン、タブレット端末を活用した授業の展開 ・ＮＰＯ等と連携した環境学習の取組	―
平成26年度	・児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上など、時代の変化に対応できる能力や態度を育成	・電子黒板やパソコン、タブレット端末を活用した授業の展開 ・ＮＰＯ等と連携した環境学習の取組	―
平成27年度	・児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上など、時代の変化に対応できる能力や態度を育成	・電子黒板やパソコン、タブレット端末を活用した授業の展開 ・ＮＰＯ等と連携した環境学習の取組	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

情報活用能力の向上や環境への意識向上等が図れた。計画期間の５／５が経過したことから１００％の進捗とした。
今後も継続した取組が必要な分野である。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中で、時代の変化に対応できる能力や態度を育成するとともに、児童生徒の情報モラル教育とリテラシーの向上などが図れた。
また、児童生徒が主体的に問題意識を持って学習に取り組めるよう、情報教育や環境教育を推進が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

家庭や地域との連携を深める必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

社会環境や情勢が目まぐるしく変化する中で、情報モラルやリテラシーの向上は欠かせないものであり、今後の取組はますます重要となることから、更なる推進を図る。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	10	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	英語指導助手設置事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

未来を担う子どもたちの聞く、話すなどの総合的なコミュニケーション能力の向上や、国際的な広い視野を持ってたくましく生きていく力を育成していくため、小中学校等への英語指導助手の派遣を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　499日 小学校　225日　中学校　253日 幼稚園　8日　その他　13日	12,394,563
平成24年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　542日 小学校　229日　中学校　296日 幼稚園　5日　その他　12日	12,064,934
平成25年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　511日 小学校　186日　中学校　308日 幼稚園　6日　その他　11日	11,640,668
平成26年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　559日 小学校　224日　中学校　320日 幼稚園　3日　その他　12日	12,041,374
平成27年度	・英語指導助手３名を任用し、小中学校等へ派遣を行い実践的な英語教育を推進	派遣日数　515日 小学校　180日　中学校　321日 幼稚園　10日　その他　4日	13,159,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

計画期間には、毎年度３名のＡＬＴを任用して小中学校等の英語教育を推進することとしており、計画どおり３名の任用により事業実施でき、派遣予定日数2,575日に対する派遣実績は2,626日となっており、派遣実績が派遣予定日数を上回ったため、100％とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの派遣日数については、派遣予定日数に対して派遣実績が100％となり、英語指導助手の有効活用ができ、小中学校等の英語教育推進に貢献できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

派遣計画作成に際しては小中学校への派遣希望日聴取に基づき調整しているが、学校行事等を避けての希望のため、希望日が重なる傾向にある。よって学校行事等で派遣できない日の英語指導助手の活用手法が課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、英語教育の推進に向けて引き続き事業を展開していくこととし、特色ある学校づくり等へ貢献できるよう派遣方法を検討する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	亀岡市教育研究所	係	
担当者		藤木	直通	0771-26-3916	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	3	具体的施策	11	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域サイエンスフェスタ									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童・生徒、保護者ならびに市民の自然科学や地域環境に対する関心を引き出し、「感動するこころ」や「探究するこころ」を育てる機会とすることをねらいとして本事業を開催しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	５２ブース　３ステージ 来場者　約１，５００人	５２ブース　３ステージ 来場者　約３，０００人	1,000,000円
平成24年度	５２ブース　３ステージ 来場者　約１，５００人	５２ブース　３ステージ 来場者　約３，０００人	1,000,000円
平成25年度	５２ブース　３ステージ 来場者　約３，０００人	５２ブース　３ステージ 来場者　約４，０００人	1,000,000円
平成26年度	５６ブース　３ステージ 来場者　約３，０００人	４９ブース　２ステージ 来場者　約３，０００人	1,000,000円
平成27年度	５６ブース　３ステージ 来場者　約３，０００人	５８ブース　２ステージ 来場者　約４，０００人	1,000,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

サイエンスやものづくりの不思議さや奥深さを味わう場を提供することができ、市内各校の教職員をはじめ、地元企業、学校、高校、大学、団体、また市民の方々の協力もあり、当初の目標を超える多くの来場者のもと盛会の内に事業が展開できました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標参加団体及び参加者数については、ステージ数を時間配分と内容の充実のため等のため２ステージに減らしましたが、ブースの数と参加人員は目標に対して実績が100%を超え、当初目的に掲げていた、児童・生徒、保護者ならびに多くの市民に自然科学や地域環境に対する関心を高めるねらいを達成することができました。また、サイエンスフェスタには、家族連れでの参加が多く、大人から子どもまで幅広い年齢層の人に参加いただき、また、ボランティアとしては、市内各学校の教職員、学生、地元企業等参画する人の裾野を広げることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市における市民対象の科学、ものづくりイベントとして、内容の充実と併せてより広く広報活動を進めていく必要があります。

○幅広い年齢層の参加者の拡大
○広報活動の取組

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、学校関係者及び地元企業等からの協力を得ながらより体系的な活動が増えるよう内容の充実を高め幅広い年齢層の参加を目指して、来場者数の増加につながるよう、さらに広報活動等を強化していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者		須﨑	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	通学安全対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童生徒の安全を確保し安心して通える学校づくりは学校教育活動の基本であり、家庭や地域との連携のもと危機管理体制を整備・充実し児童生徒の安全確保に努めるため、様々な啓発を行っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	－
平成24年度	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	－
平成25年度	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	－
平成26年度	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	－
平成27年度	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	・「地域子ども出迎えデー」啓発用のぼり、横断幕により啓発	－

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年度継続した取組で通学の安全を確保する事業であり、計画期間の５／５で算出。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初の計画通りに地域で連携し安全対策に努め、啓発をすることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当初の計画通りに実施することができたが、啓発をさらに進めるために新たな方法での事業の実施が必要となります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も引き続き事業を展開することとし、通学に対しての安全対策の啓発をしていき地域での関心を高めることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	通学安全対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

へき地校等における通学時の安全確保を図るため、スクールバスを運行するとともに遠距離通学児童生徒の通学費に助成を行い保護者負担を軽減します。また、新入学児童への黄色い帽子の配布や自転車通学生徒のヘルメット購入への助成を行い、通学時の安全確保を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・へき地校等へのスクールバスの運行など、児童生徒の通学時安全対策の推進	９月から、西別院小学校の登校時にスクールバスを運行（登校時は徒歩、下校時のみスクールバス利用）	42,217,622
平成24年度	・へき地校等へのスクールバスの運行など、児童生徒の通学時安全対策の推進	通学安全対策物品を各学校に配布、また、自転車用反射シールを全児童生徒に配布	47,708,930
平成25年度	・へき地校等へのスクールバスの運行など、児童生徒の通学時安全対策の推進	別院・育親中の生徒の通学時の交通安全面、防犯面を確保するため各２台スクールバスを購入し別院中は１０月から、育親中は２６年４月からスクールバスでの登下校を実施	85,485,608
平成26年度	・へき地校等へのスクールバスの運行など、児童生徒の通学時安全対策の推進	平成２６年４月から育親中学でスクールバスでの登下校を実施	46,238,429
平成27年度	・へき地校等へのスクールバスの運行など、児童生徒の通学時安全対策の推進	へき地校等へスクールバスを７台運行し、児童生徒の通学時安全対策の推進を図った	45,949,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年度継続して実施が必要な施策であり、５／５を経過したことから１００％の進捗とした。なお、平成２３年度から、スクールバス利用に係る保護者負担を無料にしたことから、より一層就学機会の均等を進めることができた。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

スクールバス７台を活用し、へき校等への通学時の安全確保が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

スクールバスの運行に関しては、業務委託しているため、継続的な委託経費を計上していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降についても、引き続き事業展開することとし、へき地校等へ通学する児童生徒の安全確保に努める

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者		須﨑	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校安全対策協力員配置事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

学校施設の防犯体制に万全を期し、児童・生徒の安全・安心を確保するため、地域の持つ力と人材を活用する地域ぐるみの学校安全対策委員会を設置し、その委員会をベースにした人選により各学校に常駐する学校安全対策協力員を配置しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に協力員を配置）	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に198人の協力員を配置）	協力員への報償費 19,618,900円
平成24年度	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に協力員を配置）	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に222人の協力員を配置）	協力員への報償費 19,821,900円
平成25年度	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に協力員を配置）	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に210人の協力員を配置）	協力員への報償費 19,655,780円
平成26年度	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に協力員を配置）	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に192人の協力員を配置）	協力員への報償費 19,855,288円
平成27年度	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に協力員を配置）	学校安全対策協力員の配置（18小学校、7中学校に189人の協力員を配置）	協力員への報償費 20,860,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年度継続した取組で子どもたちの安全を確保する事業であり、計画期間の５／５で算出。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市内の１８小学校、７中学校での安全対策協力員の配置し地域で連携しながら児童・生徒の安全対策を確保することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当初の計画通りに実施することができましたが、現在、学校安全対策員は大半が地域の高齢者に頼っている状況であり、急な体調不良等による欠員も考えられるため安全対策員として柔軟な配置が可能な工夫が必要になります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も引き続き事業を展開することとし、各々の委員会に適合した安全対策協力員の配置をし、学校安全対策協力員配置事業を実施します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校安全に関する啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

事故や災害から身を守るための判断力や知識・態度を育成していくため、総合的な学習の時間をはじめとして関連教科や学級活動の中で、安全指導を中心とした取り組みを進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・児童生徒が事故や災害から身を守る行動ができるよう意識向上等を図る。	・地震・火災時等の避難訓練　・不審者侵入想定訓練	―
平成24年度	・児童生徒が事故や災害から身を守る行動ができるよう意識向上等を図る。	・地震・火災時等の避難訓練　・不審者侵入想定訓練	―
平成25年度	・児童生徒が事故や災害から身を守る行動ができるよう意識向上等を図る。	・地震・火災時等の避難訓練　・不審者侵入想定訓練	―
平成26年度	・児童生徒が事故や災害から身を守る行動ができるよう意識向上等を図る。	・地震・火災時等の避難訓練　・不審者侵入想定訓練	―
平成27年度	・児童生徒が事故や災害から身を守る行動ができるよう意識向上等を図る。	・地震・火災時等の避難訓練　・不審者侵入想定訓練	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年継続した取組を行う中で災害等への対処方法としての知識や行動を身につけることができた。計画期間が経過したことから１００％の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

事故や災害から身を守るための判断力や知識・行動の育成が図れた。総合的な学習の時間をはじめとして関連教科や学級活動の中で、安全指導を中心とした取り組みの推進が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

家庭や地域と連携した取組の充実。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

事故や災害から身を守るための判断力や知識・行動は常に身に付けておくべきものであり、今後も取り組みを充実・継続する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	総務係
担当者		須崎	直通	２５－５０５２	内線	3712

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	こども１１０番のいえ									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

安全で安心できるまちづくりの実現に向け、セーフコミュニティの取組により、学校、地域、保護者などが連携・協力して子どもたちを見守る活動と、子ども自らが身を守れるような力を身に着ける仕組みづくりを進めています。
特に平成２７年度にインターナショナルセーフスクールの認証を取得した曽我部小学校では、地域の協力を得て「こども１１０番のいえ」の取り組み充実を進めているところです。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	－	－	－
平成24年度	－	－	－
平成25年度	－	－	－
平成26年度	通学路にある家の方に「こども１１０番のいえ」への参加を呼び掛ける。	「こども１１０番のいえ」への参加協力を約130件の地域の方に得られた。	－
平成27年度	通学路にある家の方に「こども１１０番のいえ」への参加と既存のいえの訪問など確認。	「こども１１０番のいえ」の約130件を登校班ごとに訪問等を行い確認した。	－

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成２６年度から開始、平成２７年度までの目標値とする。平成２７年度時点での目標は達成したため達成度を１００％とする。
平成３０年度にはセーフスクール認証の再取得を目指す。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

曽我部小学校では、インターナショナルセーフスクールの国際認証を取得できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

・安全で安心なまちづくりを進める亀岡市は、セーフコミュニティの取組の一環としてインターナショナルセーフスクール活動を曽我部小学校を核として推進しており、その趣旨を市内各校へ展開していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

・「こども１１０番のいえ」の継続と拡充
・インターナショナルセーフスクールの再認証取得

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		上西	直通	２５－６７８８	内線	2333

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	「こどもをまもる１１０番カー」周知事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

本市の未来を担う子供たちの健やかな成長願い、その生命と安全を守るため、本市公用車を「こどもをまもる１１０番カー」として指定し、子どもが危険を感じて助けを求めてきた場合の緊急避難車、ケガ等により救助を求めるための緊急救難車として活用する他、亀岡警察署・亀岡消防署への通報車としての役割を果たします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	こども１１０番カーの運用、周知を図る。	公用車約１００台にステッカーを貼付し、運用と周知を図った。	０円
平成24年度	こども１１０番カーの運用、周知を図る。	公用車約１００台にステッカーを貼付し、運用と周知を図った。	０円
平成25年度	こども１１０番カーの運用、周知を図る。	公用車約１００台にステッカーを貼付し、運用と周知を図った。	０円
平成26年度	こども１１０番カーの運用、周知を図る。	公用車約１００台にステッカーを貼付し、運用と周知を図った。	０円
平成27年度	こども１１０番カーの運用、周知を図る。	公用車約１００台にステッカーを貼付し、運用と周知を図った。	０円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

当該事業の趣旨に則り、平成１５年１１月の事業開始から「こどもをまもる１１０番カー」の運用を継続しており、公用車にステッカーを貼って運行することで事業の周知も図ってきているため、進捗率は１００％

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

　これまで救助事案は無かったものの、子どもたちの生命・安全を守る方策として、安心感の醸成が図れたことに加え、犯罪等の未然防止と市職員の防犯意識の高揚に成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

　事業の定着化が図れたものの、より一層の取り組みの進展を図るため、関係機関との情報交換も含めた講習会等を開催し、より状況に即応した対策を講じていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

　平成28年度以降については、警察・消防機関をはじめとする関係機関と連携し、さらに安全安心のまちづくりに向け、効果的な対策を展開していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	4	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校安全に関する啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

児童生徒の学校活動における安全安心を確保するため、危険箇所のチェック等を行い周知徹底を図るため。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	―
平成24年度	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	―
平成25年度	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	―
平成26年度	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	―
平成27年度	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	・安全マップの点検・改定 ・安全の日における児童生徒への安全指導	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

児童生徒の入れ替わりや校区内の地域社会環境が変わることから、安全マップの点検・改定などを行うとともに、安全の日における児童生徒への安全指導を行い、児童生徒の安全確保を図った。
計画期間が経過したことから１００％の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

安全マップの点検・改定などを行うとともに、安全の日における児童生徒への安全指導を行い、児童生徒の安全に対する意識が高まった。併せて安全確保が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

学校安全に関する情報の共有や発信の充実。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

学校安全に対する意識は常に身に付けておくべきものであり、今後も取り組みを充実・継続する。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	4	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	学校安全メールシステム事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域の住民や子どもたちの事故等に巻き込まれる危険性の軽減を図るため、不審者情報などに関わる情報のメール配信を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・システム登録者の増加に向けた周知やメール内容の充実	登録者数　3,709人 発信情報　10件	―
平成24年度	・システム登録者の増加に向けた周知やメール内容の充実 登録者数目標　3,750人	登録者数　3,685 人 発信情報　6件	―
平成25年度	・システム登録者の増加に向けた周知やメール内容の充実 登録者数目標　3,800人	登録者数　3,968 人 発信情報　7件	―
平成26年度	・システム登録者の増加に向けた周知やメール内容の充実 登録者数目標　3,900人	登録者数　4,042 人 発信情報　13件	―
平成27年度	・システム登録者の増加に向けた周知やメール内容の充実 登録者数目標　4,000人	登録者数　4,064 人 発信情報　13件	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

学校安全メールの配信は、地域全体で子どもを見守るという地域の防災力を高めることにもつながることから、登録者数の増加に向けた継続した取組が必要である。平成２７年度の登録目標者数から１００％の進捗度とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初目標値（登録者数目標4,000人）を平成２６年度にクリアし、子どもや地域の住民たちが事故等に巻き込まれる危険性の軽減を図るため、不審者情報などに関する情報をメール配信し、児童生徒等の安全安心の推進が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当初目標値（登録者数目標4,000人）はクリアしたが、登録者数の増員に向けた啓発等の充実。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も児童生徒等の安全安心の推進を図るため、登録者数の増加と迅速かつ正確な情報発信に努める。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		子安惠美子	直通	0771-25-6786	内線	3733

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	教育相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

学習や心身に課題を抱える幼児・児童生徒の、一人ひとりの発達段階や障害の程度に応じた適切な修学を支援するため、専門的な立場から本人・保護者に対する教育相談等を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・就学指導委員や関係機関の理解・協力のもとに、個々のニーズを踏まえた適正な就学指導等の推進	・就学指導員等による指導・助言	2,385,084
平成24年度	・就学指導委員や関係機関の理解・協力のもとに、個々のニーズを踏まえた適正な就学指導等の推進	・就学指導員等による指導・助言	2,361,386
平成25年度	・就学指導委員や関係機関の理解・協力のもとに、個々のニーズを踏まえた適正な就学指導等の推進	・就学指導員等による指導・助言	2,224,609
平成26年度	・就学指導委員や関係機関の理解・協力のもとに、個々のニーズを踏まえた適正な就学指導等の推進	・就学指導員等による指導・助言	3,925,971
平成27年度	・就学指導委員や関係機関の理解・協力のもとに、個々のニーズを踏まえた適正な就学指導等の推進	・就学指導員等による指導・助言	2,553,031

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

障害の内容や程度が異なる中で、一人ひとりの状態に応じた適切な支援を行うためには、早い段階からの継続した相談・支援体制の確立に向けた取り組みが必要であり、平成27年度に目標年度の計画分を実施できたことから100%の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各学校の実態や児童生徒の課題に応じた適切な支援により、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与することができた。
支援が必要な幼児の就学相談については、保健センターと連携しながら進め、児童に対しても計画的に相談活動を実施した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

教育相談件数の増加に伴う相談体制を整備する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

教育相談件数の増加や支援の必要な幼児・児童生徒の増加に対応していくため、平成28年度以降も事業を継続することとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	5	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	不登校対策支援員配置事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

不登校となった背景や要因が複雑なことから、大きな課題となっている不登校の予防とその解消を図るため、各校の不登校の実態や教員加配等を考慮する中で、「不登校対策支援員」を配置します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・各小中学校の実態を考慮する中で「不登校対策支援員」を配置。目標時間数1,110時間	・小学校１校、中学校１校に「不登校対策支援員」を各１名配置 不登校児童生徒数　小学校12人(0.22%)、中学校64人(2.31%) 従事時間数953時間	953,000
平成24年度	・各小中学校の実態を考慮する中で「不登校対策支援員」を配置。目標時間数1,110時間	・小学校２校、中学校２校に「不登校対策支援員」を配置 不登校児童生徒数　小学校24人(0.46%)、中学校69人(2.51%) 従事時間数907時間	921,000
平成25年度	・各小中学校の実態を考慮する中で「不登校対策支援員」を配置。目標時間数1,665時間	・小学校１校、中学校１校に「不登校対策支援員」を配置 不登校児童生徒数　小学校21人(0.41%)、中学校62人(2.31%) 従事時間数694時間	694,000
平成26年度	・各小中学校の実態を考慮する中で「不登校対策支援員」を配置。目標時間数2,220時間	・小学校５校に「不登校対策支援員」を配置 不登校児童生徒数　小学校21人(0.42%)、中学校66人(2.53%) 従事時間数1,971時間	1,971,000
平成27年度	・各小中学校の実態を考慮する中で「不登校対策支援員」を配置。目標時間数2,220時間	・小学校６校に「不登校対策支援員」を配置 不登校児童生徒数　小学校31人(0.63%)、中学校64人(2.51%) 従事時間数1,900時間	1,900,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

各学校の実態や児童生徒の課題に応じ、適切な支援を図るため計画期間の各年度において２～７名の「不登校対策支援員」を配置し、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与した。不登校児童生徒数もほぼ横ばい状態である。
目標時間数(2,220時間)を確保する中で、実績として1,900時間の執行状況となった。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

不登校となった背景や要因が複雑ではあるが、支援員の配置により一定不登校の予防とその解消を図ることができた。不登校児童生徒数は、年度間変動の範囲内で推移しており、全国平均並みである。
各学校の実態や児童生徒の課題に応じた適切な支援により、児童生徒の安定した学校生活に大きく寄与している。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

不登校児童生徒は増加傾向にあり、不登校対策支援員の配置時間数の不足。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

不登校児童生徒が現存する中において、今後も支援は必要であり、不登校の解消に向け充実が必要である。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	5	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	要保護・準要保護児童生徒援助事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

経済的な理由で就学が困難な児童生徒の教育の機会均等を保障するため、学校給食費、学用品費等の支給を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	就学機会を確保するため、支給要件を満たす保護者を対象に修学援助費を支給	対象者 小学校　1,058人 （全児童対比19.9%） 中学校　552人 （全生徒対率20.0%）	86,223,602
平成24年度	就学機会を確保するため、支給要件を満たす保護者を対象に修学援助費を支給	対象者 小学校　913人 （全児童対比17.5%） 中学校　542人 （全生徒対率19.7%）	78,376,306
平成25年度	就学機会を確保するため、支給要件を満たす保護者を対象に修学援助費を支給	対象者 小学校　920人 （全児童対比18.2%） 中学校　541人 （全生徒対率20.2%）	80,025,858
平成26年度	就学機会を確保するため、支給要件を満たす保護者を対象に修学援助費を支給	対象者 小学校　907 人 （全児童対比18.3 %） 中学校　546人 （全生徒対率21.0%）	77,282,052
平成27年度	就学機会を確保するため、支給要件を満たす保護者を対象に修学援助費を支給	対象者 小学校　863人 （全児童対比 17.6 %） 中学校　509人 （全生徒対率 19.9%）	76,366,627

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

対象者が増加する中で、保護者の経済的負担を軽減し義務教育の円滑な推進を図るために継続した対応が必要であり、計画期間の５／５を経過したことから１００％の進捗とした。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

経済的な理由で就学が困難な児童生徒の教育の機会均等を保障するため、保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な推進が図れた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

社会経済情勢の変化に対応し、認定基準である所得基準額の見直し等を適宜行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、経済的な理由で就学が困難な児童生徒の教育の機会均等を保障する

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	学事係
担当者		髙　木　学	直通	0771-25-5053	内線	3734

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	5	具体的施策	2	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	修学奨学金等支給事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生の修学を促進するため、必要な修学資金の一部を奨学金として支給します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生を対象に、奨学金及び入学激励金を支給	・高校生　奨学金150人・入学激励金65人(申請者対比100%) ・大学生　奨学金102人・入学激励金26人(申請者対比	18,588,000
平成24年度	経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生を対象に、奨学金及び入学激励金を支給	・高校生　奨学金159人・入学激励金52人(申請者対比100%) ・大学生　奨学金120人・入学激励金37人(申請者対比	20,871,000
平成25年度	経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生を対象に、奨学金及び入学激励金を支給	・高校生　奨学金159人・入学激励金58人(申請者対比100%) ・大学生　奨学金123人・入学激励金35人(申請者対比	21,866,000
平成26年度	経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生を対象に、奨学金を支給	・高校生　奨学金131人(申請者対比100%) ・大学生　奨学金111人(申請者対比100%)	11,190,000
平成27年度	経済的な理由で修学が困難な高校生・大学生を対象に、奨学金を支給	・高校生　奨学金128人(申請者対比100%) ・大学生　奨学金108人(申請者対比100%)	8,330,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

今後も継続した事業実施が必要であり、計画期間の５／５が経過したことから１００％の進捗とした。　なお、国や府の制度を補完する奨学金支給制度により奨学生の負担の軽減が図れ、修学の促進につながっている。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

国や府の制度を補完する奨学金支給制度により奨学生の負担の軽減が図れ、修学の促進につながった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

社会経済情勢の変化に対応し、認定基準である所得基準額の見直し等を適宜行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降についても引き続き事業展開することとし、支給要件を適宜見直す。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		八木　京子	直通	25－5054	内線	3752

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	家庭教育支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

現代社会においては、都市化、核家族化、少子化等による地域のつながりの希薄化など、家庭教育を支える環境が大きく変化するとともに、児童虐待等の急速な増加など家庭をめぐる問題が複雑化しており、社会全体で支援していく必要性が高まっています。
今後、更なる家庭の教育力向上を図るため、家庭教育支援の手法を研究・開発し、コミュニティとの協働による家庭教育支援を強化していくこととします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・家庭教育支援の手法研究	・南丹地区子育て支援協議会への参画と事業実施	0
平成24年度	・家庭教育支援の手法研究	・亀岡市ＰＴＡ連絡協議会との連携事業実施	0
平成25年度	・家庭教育支援の手法研究	・亀岡市ＰＴＡ母親代表委員会との連携事業実施	0
平成26年度	・家庭教育支援の手法研究	・子育て・親育ち講座の実施〔７講座〕 ・亀岡市ＰＴＡ母親代表委員会との連携事業実施	0
平成27年度	・家庭教育支援の手法研究	・子育て・親育ち講座の実施〔11講座〕 ・亀岡市ＰＴＡ母親代表委員会との連携事業実施	事業費 256,510円 府補助金 170,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実を図るため、学習機会の提供のみならず、ＰＴＡなど社会教育関係団体と連携し、親とつながりやすい幼稚園や子育て広場など様々な機会を活用した家庭教育支援事業を毎年度企画し、実施しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

家庭教育の多様化や地域社会の変化により家庭教育の必要性が高まっているなか、ＰＴＡや地域、子育て広場等豊かなつながりの中で家庭教育を行えるよう、多様な地域の教育機能を活用した家庭教育への支援を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

現在実施している取り組みや活動を通して、真に支援が必要な保護者に対し、学習機会や情報提供ができているかが課題であると認識しています。社会教育団体や地域の教育機能はもちろん、様々な機会を利用し、学習機会の提供や情報発信を継続していくことが重要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降も引き続き事業を継続して行いたいと考えています。親子の絆を深め、心身ともに健やかで心豊かな子供を育てるために、ＰＴＡ、幼稚園や子育てサークルなど地域の教育機能を活用し、子育てに関する学習機会や情報提供充実させていきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		八木　京子	直通	25－5054	内線	3752

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	家庭教育支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもの育ちの基礎となる家庭の養育・教育の充実を図るため、ＰＴＡなどの社会教育団体や関係機関と連携協力を強め、研修や情報提供を図ります。
また、就学前の子どもを持つ保護者などが語り合い、交流し、学び合うことで、日常の不安や悩みをやわらげるとともに、保護者同士のネットワークづくりのため、市内全小学校で「親のための応援塾」を開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（1,600人）	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（1,335人）	0
平成24年度	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（1,800人）	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（1,379人）	0
平成25年度	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（2,000人）	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（1,388人）	0
平成26年度	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（2,000人）	・新規事業「子育て・親育ち講座」の実施〔７講座〕（388人） ・「親のための応援塾」参加者数（1,427人）	（市ＰＴＡ連絡協議会への補助金） 108,000円
平成27年度	・研修や情報提供の充実 ・「親のための応援塾」参加者数（2,000人）	・新規事業「子育て・親育ち講座」の実施〔11講座〕（1,152人） ・「親のための応援塾」参加者数（1,414人）	（市ＰＴＡ連絡協議会への補助金） 108,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

本事業は多くの保護者の参加が見込まれる就学時検診時などを活用しているため、有効的な事業であると考えます。
〔1,335人(H23実績)＋1,379人(H24実績)＋1,388人(H25実績)＋1,427人(H26実績)＋1,414人(H27実績)〕÷9,400人(H23～27の合計)≒73.86%

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「親のための応援塾」では、就学前の子どもを持つ保護者などが語り合い、交流し、学びあうことで日常の不安や悩みをやわらげるとともに、保護者同士のネットワークづくりを図ることができました。
また、地域の教育機能を活用した家庭教育への支援事業を実施したことで、多くの参加を得ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

多くの保護者の参加が見込まれる就学時検診などを活用していますが、全ての保護者に対し、交流や学習の機会ができているかが課題です。就学時検診の他に、社会教育団体や地域の教育機能はもちろん、様々な機会を利用し、学習機会の提供や情報発信を継続していくとともに、土日や時間外の開催なども検討していくことが必要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「親のための応援塾」について、平成１９年から２５年までは、京都府ＰＴＡ協議会及び京都府教育委員会主催事業として実施されていましたが、平成２５年をもって府補助事業が終了しました。家庭の教育力向上における効果的な取り組みとして定着していたため、28年度以降も亀岡市ＰＴＡ連絡協議会及び亀岡市教育委員会主催事業として継続していきます。

また、平成２６年度から実施している“子育て・親育ち講座”を継続して行い、幼稚園や子育てサークルなど地域の教育機能を活用し、取り組みを充実させていきたいと考えています。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		井上　ひさ子	直通	24-4710（図書館）	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公民館運営事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○文化事業の開催
○公民館サークルの指導・援助
○会議室の管理・運営
○施設の安全管理・維持管理

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	○文化事業の充実 ○公民館サークルまつりの充実 ○館の運営・管理の充実	○公民館サークルまつりの実施 ○23年度利用件数　1,536件 ○23年度利用人数　17,231件	2,416,000
平成24年度	○文化事業の充実 ○公民館サークルまつりの充実 ○館の運営・管理の充実	○公民館サークルまつりの実施 ○24年度利用件数　1,528件 ○24年度利用人数　16,558件	2,562,000
平成25年度	○文化事業の充実 ○公民館サークルまつりの充実 ○館の運営・管理の充実	○公民館サークルまつりの実施 ○25年度利用件数　1,491件 ○25年度利用人数　16,274件	2,254,000
平成26年度	○文化事業の充実 ○公民館サークルまつりの充実 ○館の運営・管理の充実	○耐震診断の実施 ○公民館サークルまつりの実施 ○26年度利用件数　1,501件 ○26年度利用人数　16,359件	5,340,000
平成27年度	○文化事業の充実 ○公民館サークルまつりの充実 ○館の適正な運営・管理 ○耐震診断結果に基づく施設のあり方検討	○公民館サークルまつりの実施 ○27年度利用件数　1,030件 ○27年度利用人数　11,640件	2,480,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

長年、多くのサークル活動の指導・支援に努め、市民自らが進めていける等、自主的サークルに成るまで一定の成果を収めています。
しかし、施設の老朽化・耐震診断の結果を受け、平成27年度末をもって休館するため、公民館での活動サークルが今後も引き続き、サークル活動が行えるよう、他施設を紹介するなど次への活動場所の確保を支援しました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

中央公民館は、昭和45年建設以来、多くの講座を催し、市民に学習の機会を提供したり、サークル活動へと繋げていけるよう支援してきました。
亀岡市公民館サークル等連絡協議会を支援し、毎年、学習成果の発表の場として公民館サークルまつりを後援・補助し、広く市民にアピールしています。
しかし、平成26年度に実施した耐震診断の結果、Is値が0.39となり、震度6～7の地震で倒壊の危険性があると診断され、休館となるため、活動団体を他施設へ紹介するなど活動場所が確保できるよう支援しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

中央公民館は、昭和45年に亀岡会館と併設して建設され45年が経過し、老朽化しています。
平成26年度に実施した耐震診断の結果、Is値が0.39となり、震度6～7の地震で倒壊の危険性があると診断されました。
市民や利用者の安全確保を考慮する中で、平成28年4月から休館措置としました。亀岡会館と合わせ、施設の今後のあり方を検討しなければなりません。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度・29年度、亀岡市公共施設等管理計画で中央公民館を含め、亀岡市の施設を総合的に考え、今後のあり方を検討される予定であり、休館中の建物の安全管理・維持管理に努めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		井上　ひさ子	直通	24-4710(図書館)	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	障害者教室開設事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○知的障害者成人学級の開設
○聴覚障害者成人学級の開設
○視覚障害者成人学級の開設

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	○知的障害者成人学級の充実 ○聴覚障害者成人学級の充実 ○視覚障害者成人学級の充実	○知的…29講座　927人参加 ○聴覚…21講座　440人参加 ○視覚…32講座　498人参加	366,000
平成24年度	○知的障害者成人学級の充実 ○聴覚障害者成人学級の充実 ○視覚障害者成人学級の充実	○知的…29講座　730人参加 ○聴覚…21講座　378人参加 ○視覚…31講座　522人参加	366,000
平成25年度	○知的障害者成人学級の充実 ○聴覚障害者成人学級の充実 ○視覚障害者成人学級の充実	○知的…26講座　595人参加 ○聴覚…18講座　386人参加 ○視覚…30講座　462人参加	2,082,400
平成26年度	○知的障害者成人学級の充実 ○聴覚障害者成人学級の充実 ○視覚障害者成人学級の充実	○知的…24講座　519人参加 ○聴覚…20講座　352人参加 ○視覚…33講座　494人参加	2,095,900
平成27年度	○知的障害者成人学級の充実 ○聴覚障害者成人学級の充実 ○視覚障害者成人学級の充実	○知的…22講座　438人参加 ○聴覚…20講座　362人参加 ○視覚…32講座　465人参加	2,073,600

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

障害者が社会参加と情報交換等の場として意欲的に参加しています。活動内容も運営委員を選出し、指導員と共に希望・意見を出し合い、企画運営しているので満足度も高くなっています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

知的障害者、聴覚障害者、視覚障害者等障害の違いによって、それぞれの特色をいかした活動内容を取り入れ、社会参加や情報提供などの場として学級を開催しています。
参加者も意欲的に参加・活動し、満足度も高くなっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

障害者やボランティアの高齢化が進み、大幅な参加人数は望めず、活動範囲が狭くなっています。
特に障害者学級はボランティアの参加・援助がなくては、活動ができないのでボランティアの募集や活動の周知が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、障害のある人の社会教育活動や社会参加を促進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		宮川　泰一	直通	２５－５０５４	内線	3752

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	21
②事業名	心の教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域における様々な教育機能が連携し、子どもたちの成長を支援することが必要です。心の教育推進委員会をはじめ、地域の組織や団体、保護者、ボランティアなどの協力を得る中で、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進するため、市内２３地区において「子ども心の教育推進事業」を委託事業として実施しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,800人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,866人)	1,328,739
平成24年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,900人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,003人)	1,367,275
平成25年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,000人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,253人)	1,349,739
平成26年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,100人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,350人)	1,383,360
平成27年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,200人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,611人)	1,166,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

地域の組織や団体、保護者などの連携により各地区で特色ある取組が展開され、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進し、ふるさとを愛する心の育成を図れたため。
〔4,866人(H23実績)＋5,003人(H24実績)＋5,253人(H25実績)＋5,350人(H26実績)＋4,611人(H27実績)〕÷25,000人(H23～28の合計)≒100.3%

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者人数は、目標に対して実績が100%となり、地域の組織や団体、保護者などが連携して各地区で特色のある取組が展開できました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

参加者については、目標人数を上回り、子ども心の教育推進事業の裾野を広げることができましたが、少子化により児童の減少が見込まれることから、関心を向けられるような内容を発信できるよう工夫が必要です。

○取組内容の周知や質の向上

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開し、市内２３地区において地域全体で子どもを育てる環境づくりを更に推進します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	放課後児童係
担当者		岡田　康宏	直通	25-5199	内線	3756

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	放課後児童健全育成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

保護者が就労等で昼間家庭にいない児童（小学１～４年生）を対象に、小学校や自治会施設等を利用し、支援員等を配置のもと「生活の場」として放課後児童会を開設。※４年生は長期休業期間に限る。
遊びや学習を通じて、放課後の児童の健全育成及び子育て支援を図る。

【開設時間】　平日：授業終了後～１８時００分　　第２土曜日：８時３０分～１２時３０分
長期休業期間・代休開設日：８時００分～１８時００分

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	放課後児童会負担金の納付方法の負担軽減を目的として口座振替を実施する。 また、放課後児童会環境整備としてエアコンの設置を行う。	市内１８小学校において２３のクラブを開設。 放課後児童会利用者の利便性向上のため、負担金の口座振替の実施を行った。 また、夏季における児童の健康管理のためのエアコンを設置した。 （設置数　１３クラブ　２２台）	99,652,514円 うち府支出金：　35,941,000円 保護者負担金：32,275,000円
平成24年度	入学式（始業式）前の４月１日から放課後児童会開設を行う。	市内23箇所の放課後児童会において、入学式前の4月1日から放課後児童会を開設した。	98,463,195円 うち府支出金：　31,572,000円 保護者負担金：33,088,300円
平成25年度	子ども・子育て関連３法改正に伴う事業運営充実を目的として、開設場所と指導員確保の視点で今後の事業運営のあり方についての方針を策定する。	市内2小学校の放課後児童会を分設し保育環境の改善を図った。（23箇所→25箇所）また、学校外で開設していた2児童会を学校内に移設し、移動等に伴う児童の安全性の向上を図った。	99,481,295円 うち府支出金：　29,607,000円 保護者負担金：36,187,500円 ※還付未済金3,400円含む
平成26年度	子ども・子育て支援新制度による法改正施行を次年度に控え、その事業対象学年の拡大を含めた事業拡充についての方針を策定する。	事業拡充について検討した結果、法改正に合わせ、事業対象学年を一部拡大すると共に、市民ニーズにあった事業運営形態とすべく、開設時間の延長や開設日の拡充を図る方針とし、その施行に向け既存条例の改正を含む環境整備を行った。	109,359,553円 うち府支出金：　37,185,000円 保護者負担金：39,999,700円
平成27年度	事業対象学年の段階的拡大に係る方針を含め、市民ニーズを勘案しながら、更なる事業運営体制の拡充を図るべく検討を進める。	夏休み等の学校長期休業期間に限り、事業対象学年を４年生まで拡大すると共に、学校長期休業期間等の開設時刻を30分早め午前8時から開設。また、学校行事等による代休日に新たに児童会を開設するなど、事業運営形態の充実を図った	116,745,464円 うち国庫支出金：　23,164,000円 府支出金：　22,825,000円 保護者負担金：　47,462,200円 ※国庫支出金については、H28年度に

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

前年度に決定した方針により、実際に事業対象学年の一部を拡大し、また、開設時間の延長や代休日の開設など保護者アンケート調査結果等に基づく市民ニーズに対し、一定その内容を反映した事業運営体制の拡充を図ることができたと考えられるため。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

多様化する市民ニーズに対応すべく、新１年生児童の入学式前からの受入れ開始や開設時間の延長など運営形態の充実に取組むと共に、児童にとってより良好な保育環境を確保するため全児童会教室へのエアコン設置、保育場所の増設などの環境改善を図ることができたこと、また、平成２７年度の子ども・子育て支援新制度施行による法改正に伴い、事業対象学年の一部を拡大することができたことなどから、児童の健全育成のみならず、子育て支援策の一翼として市民福祉の向上に寄与することができたと考えています。

更に、保護者負担金の口座振替制度の開始により、利用者の利便性の向上並びに負担金管理事務の効率化を図るなど、一定の事務改善を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、平成２７年度から全国的に条例化することが義務付けられ、本市におきましても同基準を定める条例を制定しましたが、年々入会児童数が増加傾向にあり、また、法改正により最終的に小学６年生までの児童を年間を通じて受けれることが求められている中、児童１人当たりの面積などの基準を満たすことができない児童会が半数以上存在しており、その基準適合のため新たな保育場所及び人材の確保が困難な状況にあり課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

全ての児童会において、年間を通じて全学年の児童を受入れられる体制を平成３１年度までに順次整備することを目標に、その開設場所や人材を段階的に拡充していく方針ですが、平成２８年度から既存児童会の状況等を精査する中で、可能と判断される児童会から対象学年を拡大すると共に、利用者ニーズ調査結果等を踏まえ、開設時間の延長を含む事業運営体制の拡充方針について検討していきます。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	地球環境子ども村係
担当者		木暮湧也	直通	26-6100	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	自然活動者（団体）のデータベース化の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成１３年度3月策定の地球環境子ども村計画の基本計画は、子どもを中心とした自発的な環境活動の推進を図るため、平成22年度までの10年間を目標としさまざまな取り組みを実施してきました。
事業実施を図りながら市民主体への運営移行を目指します。
平成24年度から平成26年度末で今後の事業実施について再検討をする予定です。当初の目的であった運営主体となりうるＮＰＯや市民団体のリストアップならびに刻々と変化していく生物相の現状把握をデータ化し、その成果を今後の事業展開の指針としたいと考えます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	業務提携可能な関係団体のリストアップと打診および育成	生き物大学開催時(5回)に、市民団体等の協力を得て開催	―
平成24年度	業務提携可能な関係団体のリストアップと打診および育成	生き物大学開催時(９回)に、市民団体等の協力を得て開催	―
平成25年度	業務提携可能な関係団体のリストアップと打診および育成	生き物大学開催時(１３回)に、市民団体等の協力を得て開催	―
平成26年度	関係団体のネットワーク組織の構成案 全国タンポポ予備調査	生き物大学開催時(２０回)に、市民団体等の協力を得て開催 タンポポ予備調査も専門家の指導を受け実施	―
平成27年度	関係団体のネットワーク組織の構成および運用 全国タンポポ調査	生き物大学開催時(２６回)に、市民団体等の協力を得て開催 タンポポ調査も専門家の指導を受け実施	―

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに実施すべき取り組み（当面5団体の協力を得る）目標を達成することができたことから100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

様々な地球環境子ども村の環境活動を中心とした事業を実施するうえで、ＮＰＯや市民団体に協力してもらいながら進めることが出来た。
当初5団体の協力を得るという目標であったが、平成27年度は5つ以上の団体から協力を得ることが出来た。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

現在協力いただいている5団体については、地球環境子ども村の事業に分野ごとに協力していただいており、地球環境子ども村が実施している自然環境学習全般を仕切るような体力はありません。今後そのような団体が出てくるのかわかりませんが、地球環境子ども村がコーディネーター役となり、各団体の得意分野で協力していくのが最善と考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

現在協力いただいている団体以外にも亀岡市にはたくさんの自然体験活動や環境活動をされている団体があります。今まで協力いただいている団体にはさらに協力関係を強化し、また新しい団体の開拓をすることによって、子ども村事業が広い分野で、また広い範囲で活動できるようにしていくことが大切であると考えます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	図書館	係	
担当者		栗林　さよ子	直通	２４－４７１０	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	図書館サービス充実事業（管理運営の効率化等）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

昭和５５年開設の中央館は、安全で快適な読書環境を提供するため、平成２５年度に耐震補強・大規模改修工事を実施しました。各分館・分室も開館以来かなりの年数が経過しており、安心・安全な利活用の面から計画的な点検・整備を検討していく必要があります。
平成２７年度は図書館電算システムの継続、充実を図り、貸出・返却・資料検索・予約サービスとネットワーク環境の充実を行います。
今後も各施設の整備を行い、施設管理運営の効率化を図るとともに、図書館電算システムの活用や多様な利用者ニーズに応える魅力ある図書館サービスの充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・大井分館の移転整備 ・電算システムの充実による図書検索、貸出予約サービスの提供	・大井分館の移転整備（閲覧スペース・おはなし広場などの拡充） ・インターネット予約件数5,965件（予約割合32.1%）	147,318,520円
平成24年度	・中央館耐震診断及び耐震補強・大規模改修工事設計業務 ・耐震補強・大規模改修工事 ・電算システムの充実による図書検索、貸出予約サービスの提供	・中央館耐震診断及び設計業務完了 ・耐震補強・大規模改修工事着工 ・インターネット予約件数6,701件（予約割合36.5%）	31,357,799円 （国 1,777,000円）
平成25年度	・中央館耐震補強・大規模改修工事 ・電算システムの充実による図書検索、貸出予約サービスの提供	・中央館耐震補強・大規模改修工事完了（授乳室、おはなしの部屋新設） ・インターネット予約件数6,956件（予約割合37.0%）	186,996,294円 （国 158,031,000円）
平成26年度	・電算システムの更新	・図書館電算システムの更新を図り、貸出・返却・資料検索等システムとネットワーク環境の充実 ・インターネット予約件数7,344件（予約割合37.5%）	19,309,974円
平成27年度	・電算システムの充実による図書検索、貸出予約サービスの充実	・図書館電算システムによる貸出・返却・資料検索・予約サービスの充実 ・インターネット予約件数9,104件（予約割合42.9%）	16,434,357円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成２７年度は図書館電算システムの継続、充実を図り、貸出・返却・資料検索等システムとネットワーク環境の充実を行いました。図書館全体では利用者の微増がみられました。今後は図書館情報システムを活用した電子パスファインダー（情報探索支援ツール）の提供や在架予約システムの導入を検討し、また、「総合電子図書館」や「電子図書」の取り扱いについて研究していくことが重要であると考えます。
平成２７年度までに実施すべき５つの取組は完了しましたが、貸出冊数等の利用状況が中央館耐震工事前の状態に戻っていないため96%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

大井分館移転整備や中央館耐震補強・大規模改修工事等により、市民読書活動推進の根幹となる読書環境の整備を図ることができました。
また、図書館電算システムの更新により、システムとネットワーク環境の整備を行ったことにより、インターネット予約も可能となり、貸出・返却・資料検索・予約サービス等を充実することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

読書環境の整備は図ってきましたが、利用者の大幅な増加には至っていません。またインターネット予約の導入により予約数も増加し、サービスを上手に利用されている方は増加しているものの、利用者の固定化がみられ、新規利用者の増加にはつながっていません。図書館への来館者を増加させるための工夫と新たなサービスの提供が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後は図書館情報システムを活用し、サービス機能の充実として在架予約サービスを実施します。また、利用の少ない若年層への対策として、電子パスファインダー（情報探索支援ツール）の提供や電子図書の導入についても研究していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	図書館	係	
担当者		岸田　敦子	直通	２４－４７１０	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	20
②事業名	図書館サービス充実事業（図書及び資料の充実）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民の要望に応えられるよう、幅広い資料を計画的に収集し、充実を図ります。
郷土資料や行政資料等、地域の特色を活かした資料の充実を図り、資料提供の環境を整えます。
レファレンスを充実させると共に、図書館の利活用やおはなし会等の行事について積極的な広報活動を行い、利用者や市民一人当たりの年間貸出冊数の増加を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 ４．９冊	・図書購入冊数（12,180冊） ・視聴覚資料購入点数 （CD137点、DVD134点） ・市民一人当たり年間貸出冊数 （4.79冊） ・総貸出冊数(446,167冊)	44,314,289円
平成24年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 ５．０冊	・図書購入冊数（5,662冊） ・視聴覚資料購入点数 （CD111点、DVD58点） ・市民一人当たり年間貸出冊数 （4.85冊） ・総貸出冊数(448,904冊)	41,125,526円
平成25年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 ５．１冊	・図書購入冊数（5,496冊） ・視聴覚資料購入点数 （CD85点、DVD77点） ・市民一人当たり年間貸出冊数 （4.44冊） ・総貸出冊数(408,105冊)	39,867,548円
平成26年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 ５．２冊	・図書購入冊数（7,189冊） ・視聴覚資料購入点数 （CD102点、DVD83点） ・市民一人当たり年間貸出冊数 （4.66冊） ・総貸出冊数(425,702冊)	42,215,683円
平成27年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 ５．３冊	・図書購入冊数（5,683冊） ・視聴覚資料購入点数 （CD96点、DVD84点） ・市民一人当たり年間貸出冊数 （4.77冊） ・総貸出冊数(432,484冊)	41,977,439円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→					平成27年度

（その根拠）

「目指す目標」の市民一人当たり年間貸出冊数5.30冊に対して、平成２７年度は4.77冊であったことから、達成率は90％とします。
平成２７年度は図書館全体で貸出人数・冊数ともに微増が見られます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

利用者の要望に応えられるよう、図書や資料を幅広く計画的に収集し図書館の蔵書の充実を図るとともに、府内のネットワークも活用して予約やリクエストにこたえることができています。
また、郷土資料や行政資料等、地域の特色を活かした資料等についても充実を図り、資料提供の環境を整えることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

収集した資料を利用し、さらにそれをレファレンス業務にいかすためには、図書館職員の資料に対する知識と利用者へ応対する能力が必要となります。それらを向上・充実させるには時間がかかり、応対する職員によってサービスの提供が異なっている場合もあります。
また、おはなし会等の図書館行事や本の展示などによる利用への読書の啓発も広報誌等により行っていますが、図書館を利用される方には効果がみられるものの、利用をされない方には積極的な広報活動が充分ではなく、収集した資料をさらに利用していただくためのさらなる広報活動が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、図書館資料の充実に努めるとともに、市民の要望に応えられるよう、研修や情報の共有により、職員のレファレンスへの対応能力を向上させるとともに、図書館の利活用やおはなし会等の行事の積極的な広報活動を行い、図書館利用の促進に努めることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	図書館	係	
担当者		鵜飼　弘子	直通	２４－４７１０	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	子どもの読書活動充実事業（子どもの読書環境）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもの読書活動は、ことばを学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにし、生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境を整備していくことが重要です。
平成２７年度は、家庭や親子での読書活動推進を図る方策の一つとして、読んだ本の履歴をふり返り読書意欲を向上させることにつながる、子ども読書手帳を作成配布します。今後も、亀岡市教育委員会策定「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」に基づき、児童書の充実と、社会総がかりの子ども読書推進の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・大井分館児童コーナーの充実 （2,000冊） ・子ども読書フェスティバル開催 ・幼・保配本事業の開始 ・児童書の充実 （購入冊数1,700冊）	・大井分館児童コーナーの充実 （児童書新規購入2,000冊） ・読書フェスティバル （参加者850名） ・配本事業（18施設、3,500冊） ・児童書の充実 （購入冊数1,698冊）	4,200,221円
平成24年度	・ブックスタート事業の開始 ・児童書の充実 （購入冊数　1,700冊）	・ブックスタート事業の開始 11ヶ月健診時に絵本のプレゼント（716冊）読み聞かせ ・児童書の充実 （購入冊数　1,723冊）	3,614,089円 （府　298,000円）
平成25年度	・ブックスタート事業の継続 ・児童書の充実 （購入冊数1,700冊）	・ブックスタート事業の継続 11ヶ月健診時に絵本のプレゼント（674冊）・読み聞かせ ・児童書の充実 （購入冊数　1,692冊）	3,419,301円 （府　202,000円）
平成26年度	・ブックスタート事業の継続 ・子ども読書フェスティバルの開催 ・児童書の充実 （購入冊数2,000冊） ・配本事業の充実	・ブックスタート事業の継続 11ヶ月健診時に絵本のプレゼント（679冊）、読み聞かせ ・読書フェスティバル （参加者250名） ・児童書の充実 （購入冊数3,049冊） ・配本事業（小学校11校:6,980冊、	5,865,230円 （府　300,000円）
平成27年度	・ブックスタート事業の継続 ・子ども読書手帳の作成 ・児童書の充実 （購入冊数2,000冊） ・配本事業の充実	・ブックスタート事業の継続 11ヶ月健診時に絵本のプレゼント（670冊）、読み聞かせ ・子ども読書手帳の作成配布 （配布人数1,450名） ・児童書の充実 （購入冊数1,633冊） ・配本事業（小学校11校:7,080冊、	3,015,405円 （府　180,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」に揚げる子ども読書の推進及び取組方策の実現を図るため、「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」推進会議を開催しています。多くの関係機関・団体の活動について連絡調整を行う場として、実施計画の具体化に取り組んでいます。
平成２７年度は、家庭や親子での読書活動推進を図る方策の一つとして、読んだ本の履歴をふり返り読書意欲を向上させることにつながる、子ども読書手帳を作成配布しました。
平成２７年度までの児童書の購入冊数の目標が延べ9,100冊に対して、平成２７年度までの実績は延べ9,795冊であり、平成27年度進捗度は100％とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」に揚げる子ども読書推進を図るため、種々の取組を行うことができ、読書フェスティバル、配本事業、ブックスタート事業は子どもが本に親しむきっかけづくりとなり、子どもの読書活動の推進が図れたと考えます。
また、計画的に児童書の購入も行うことができ、子どもの読書環境も充実してきました。
最終年には、子ども読書手帳を作成配布し、子どもたちの読書の楽しみの一つとなっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」推進会議を定期的に開催し、多くの関係機関・団体が各活動の連絡調整を行う場として、計画の具体化に取り組んでいます。しかしその具体化されたものの実施には時間を要しています。
また、地域での読書の取組や親子読書についてはまだまだ十分ではなく、さらなる取組が必要と考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

子どもの読書活動の推進については、その取組の効果がすぐに現れるものではなく継続性が必要です。そのため、「かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」推進会議を定期的に開催し、子どもの読書活動に関わる方たちを中心として、「第３次かめおかっこ 夢・未来 読書プラン」の策定を進めるなかで、これまでの取組を点検し課題を拾い上げ、読書活動推進のための取組につなげます。また、関係機関との協働の取組も進めることとします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	図書館	係	
担当者		山本　美幸	直通	２４－４７１０	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	3	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	子どもの読書活動充実事業（読書ボランティアの養成等）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

読書ボランティアを養成するとともに、ボランティア団体の支援とネットワークの強化を促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	･ボランティアによるおはなし会、お楽しみ会の定例開催 ・ボランティア養成講座の実施 ･学校図書指導員の配置1,400回	・おはなし会のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ増(2団体) ・養成講座の実施　受講者　12名 ・指導員の配置（18校 1,277回） ・図書館ボランティア協議会「本の種をまく人の会」会員所属グループ9グループ及び延べ98名(個人会員3名含む)	728,000円
平成24年度	･ボランティアによるおはなし会、お楽しみ会の定例開催 ･ボランティア養成講座の実施 ･学校図書指導員の配置1,400回	・養成講座の実施　受講者22名 ・指導員の配置（18校 1,267回） ・図書館ボランティア協議会「本の種をまく人の会」会員所属グループ10グループ及び延べ113名(個人会員3名含む)	724,000円
平成25年度	･ボランティアによるおはなし会、お楽しみ会の定例開催 ・ボランティア養成講座の実施 ・学校図書指導員の配置1,500回	・養成講座の実施　受講者20名 ・指導員の配置（18校 1,214回） ・図書館ボランティア協議会「本の種をまく人の会」会員所属グループ10グループ及び延べ113名(個人会員3名含む)	695,500円
平成26年度	･ボランティアによるおはなし会、お楽しみ会の定例開催 ･ボランティア養成講座の実施 ･学校図書指導員の配置1,650回	・養成講座の実施　受講者16名 ・指導員の配置（17校 1,243回） ・図書館ボランティア協議会「本の種をまく人の会」会員所属グループ10グループ及び延べ113名(個人会員3名含む)	710,000円
平成27年度	･ボランティアによるおはなし会の定例開催 ･ボランティア養成講座の実施 ･学校図書指導員の配置1,800回	・養成講座の実施　受講者14名 ・指導員の配置（17校 1,228回） ・図書館ボランティア協議会「本の種をまく人の会」会員所属グループ11グループ及び延べ119名(個人会員8名含む)	701,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

子どもの読書活動に対する支援は、図書館ボランティア協議会や学校図書指導員、学校支援ボランティアなど、多くのボランティアに支えられて充実してきていますが、ボランティアのネットワーク化という点で強化していく必要があります。

一方、平成２４年度から実施の「ブックスタート事業」や「としょかんおはなしひろば」において、ボランティアが絵本の読み聞かせを行っており、活動の場が広がってきています。

平成２７年度は、小学校17校において学校図書指導員配置事業を実施しましたが、指導員数や配置回数、活動内容等学校間で取組内容にかなり差が見られます。１校年間平均100回（18校で 1,800回）の活動回数を目標としていたため、平成２７年度の進捗度は68%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

図書館ボランティア団体の増加やボランティア協議会によるおはなし会の実施、また学校図書指導員配置事業及びボランティア養成講座の実施は、子どもの読書活動に対する大きな支援となりました。
図書館の「ブックスタート事業」や「おはなしかい」は定例的に開催することができており、地域での子ども会での公演依頼も増加しており、その活動の場を広げることができています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

図書館ボランティア協議会、学校読書ボランティア、個々のボランティアグループとそれぞれの活動は広がっていますが、読書に関わってくださるボランティア全員の方々への情報提供や交流が十分に図れているとは言えません。
また、地域における活動についても、学校図書指導員配置事業のように、学校間で取組回数等に差が見られます。亀岡市域全体に子どもの読書活動の推進を協働して進めるため、情報を共有し交流の場を持つことが必要と考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

子どもの読書活動の推進において、ボランティア活動は大きな力となっています。また、子どもの読書活動の推進は子どもたちの豊かな成長になくてはならないものであることから、子どもたちの読書に対するきっかけづくりや読書環境の整備を進めるためにも、読書ボランティアの養成とその活動への支援、さらにそのネットワークの強化を図っていくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	文化振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

美術・書道・音楽等、あらゆる分野における市民主体の文化芸術活動を促進し、多くの市民が参加できる機会の充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,600人）	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,697人）	亀岡文化交流協会補助金等（105,210円）
平成24年度	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,700人）	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,391人）	亀岡文化交流協会補助金等（114,587円）
平成25年度	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,800人）	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,139人）	亀岡文化交流協会補助金等（117,250円）
平成26年度	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,900人）	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,350人）	亀岡文化交流協会補助金等（112,403円）
平成27年度	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（2,000人）	「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数（1,243人）	亀岡文化交流協会補助金等（118,210円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

「亀岡市美術展」「亀岡市民文化祭」「公民館サークルまつり」「亀岡文化交流協会 発表会」の４事業の総参加者数を目標に定めています。平成27年度までの総参加者数の目標合計が9,000人であるのに対し、平成27年度までの総参加者数は6,820人であり、達成度は76%となりました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標参加者数には届きませんでしたが、文化活動の成果を発表する場として多くの参加者に出演、出展していただきました。またこうした展示、舞台発表の場には、年間6,000人から8,000人の方が来場されており、様々な文化芸術に触れる良い機会となっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「亀岡市美術展」、「亀岡市民文化祭」、「公民館サークルまつり」は市民や関係団体の協働により実施され、また、「亀岡文化交流協会　発表会」についても所属団体が主体となって開催されていますが、全体的な参加者数をみると減少傾向にあります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

市民が文化に触れる貴重な機会としての位置づけから、市としても市民や関係団体と連携し、広報活動等支援をしていきたいと考えています。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	広域文化振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

南丹地域、京都府全域、そして国内全域の自治体や文化・芸術団体等と連携して文化芸術活動を行います。そして、市民の文化活動への参加機運をさらに高め、同時に新しい文化の創造を促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「第26回国民文化祭 京都2011」実施のため「京都府中部文化芸術祭」休止	「第26回国民文化祭 京都2011」実施のため「京都府中部文化芸術祭」休止	国民文化祭実行委員会負担金（9,000,000円）
平成24年度	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（210人）	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（328人）	ポスト国民文化祭事業補助金等（931,985円）、京都府中部文化芸術祭市町負担金（600,000円）
平成25年度	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（230人）	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（259人）	文化芸術事業補助金（800,000円）、京都府中部文化芸術祭市町負担金（450,000円）
平成26年度	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（230人）	「京都丹波文化芸術祭」参加者数(387人) 「ひかる」まちなみプロジェクト あんどん製作（西町・呉服町）	文化芸術事業補助金（800,000円）、京都丹波文化芸術祭市町負担金（300,000円）
平成27年度	「京都府中部文化芸術祭」参加者数（230人） 「ひかる」まちなみプロジェクトあんどん製作（北町　塩屋町紺屋町）	[ひかる」まちなみプロジェクト あんどん製作（北町・塩屋町・紺屋町）	文化芸術事業補助金（1,000,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの総参加者数の目標合計が900人であるのに対し、平成26年度までの参加者数は974人であり、進捗度は100％となりました。（京都文化芸術祭実行委員会は平成27年度以降の活動を休止しました。）
「ひかる」まちなみプロジェクトでは、京都市や南丹市の芸術系大学の学生等と共に、地域のあんどん製作に取り組みました。平成26年度は2町、平成27年度は3町の住民が参加しました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

京都丹波文化芸術祭は2市1町（当時は京都府中部文化芸術祭・1市8町）の広域的な文化事業を実施してきました。近年では広域南丹振興局が中心となって開催した京都丹波EXPOと同時開催で、文化活動の発表の場としての取り組みを進めてきました。事業参加者数については、目標に対しての実績が100％となり、市町のエリアを越えた多くの方に参加いただき、交流を深めました。
「ひかる」まちなみプロジェクトでは、地域のあんどん製作として、デザイン・製作を芸術系大学の学生らと共に取り組みました。平成26年度から5町の住民が製作に参加しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

京都丹波文化芸術祭では市町のエリアを越えた文化交流が進められてきましたが、市町村合併が進む中で一定の役割を終え、平成27年度以降の事業実施を休止しました。今後は新たな広域的な文化事業の検討が必要となります。
○文化団体（芸術系大学や文化団体）との連携
○京都府南丹広域振興局との連携

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降は、京都府や市外の文化団体等と協議・連携しながら、新たな広域的な文化事業を検討を進めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡会館管理運営事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民福祉の増進及び文化教養の向上を図るための拠点として設置している亀岡会館において、利用者の皆さんが、文化芸術活動の主体的・効果的な活躍の場として安全に気持ちよく施設を利用いただけるように、指定管理者と協議しながら適切な管理運営を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	亀岡会館利用者数 （57,000人）	亀岡会館利用者数 （56,943人）	会館運営経費 （18,805,530円）
平成24年度	亀岡会館利用者数 （57,500人）	亀岡会館利用者数 （55,941人）	会館運営経費 （18,522,805円）
平成25年度	亀岡会館利用者数 （58,000人）	亀岡会館利用者数 （47,099人）	会館運営経費 （22,868,576円）
平成26年度	亀岡会館利用者数 （58,500人）	亀岡会館利用者数 （36,282人） 平成27年1月4日から休館	会館運営経費 （27,170,989円）
平成27年度	平成27年1月4日から休館	―	会館運営経費 （2,222,355円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの亀岡会館利用者数の目標合計が290,000人であるのに対し、平成26年度までの利用者数は159,983人であったため、進捗度は約68％となりました。
亀岡会館は平成26年度に実施した耐震診断の結果を受け、平成27年1月4日から休館としました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡会館は平成21年度から指定管理制度を導入し、文化活動の場、芸術鑑賞及び舞台発表の場として積極的に活用できるよう指定管理者と協議をしながら管理運営を進め、多くの市民・団体の文化活動の拠点としての役割を担ってきました。しかしながら、平成26年度に実施した耐震診断結果により平成27年1月4日から休館としました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡会館が担ってきた文化活動の拠点としての機能をどのように整備していくかが課題です。しかしながら施設の改修、建替え等には多額の費用負担が生じるため、公共施設全体のあり方を考える中での検討していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「公共施設等総合管理計画」の内容を踏まえ、亀岡会館のあり方や市民のニーズに合う文化施設の整備についての検討を進めます。

様式1　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井孝則	直通	25－5068	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	市内遺跡発掘調査事業、文化財保護経費（補助）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

圃場整備事業等により、滅失が危惧される埋蔵文化財包蔵地の状況確認及び保全等について、円滑な調整を図るための基礎資料を得る目的で、発掘調査等を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	国営農地整備関係遺跡、南部土地区画整理事業関係遺跡の発掘調査を実施します。	国営農地整備関係遺跡、南部土地区画整理事業関係遺跡の発掘調査を実施しました。	（曽我部町内遺跡等の発掘調査、篠窯業生産遺跡の詳細分布調査） 6,000,015円
平成24年度	圃場整備関係遺跡及び滅失が危惧される埋蔵文化財包蔵地の状況確認及び保全等について、基礎資料得る目的で発掘調査等を行います。	国営農地整備関係遺跡、篠窯業生産遺跡群の発掘調査を実施しました。	（千代川遺跡等の発掘調査、太田遺跡の発掘） 6,000,117円
平成25年度	圃場整備関係遺跡及び滅失が危惧される埋蔵文化財包蔵地の状況確認及び保全等について、基礎資料得る目的で発掘調査等を行います。	国営農地整備関係遺跡、篠窯業生産遺跡群、保津町内遺跡、佐伯遺跡の発掘調査を実施しました。	（亀岡中部地区等の発掘調査） 6,000,065円
平成26年度	圃場整備関係遺跡及び滅失が危惧される埋蔵文化財包蔵地の状況確認及び保全等について、基礎資料得る目的で発掘調査等を行います。	国営農地整備関係遺跡、篠窯業生産遺跡群、保津町内遺跡、佐伯遺跡の発掘調査を実施しました。	（亀岡中部地区等の発掘調査） 4,000,073円
平成27年度	圃場整備関係遺跡及び滅失が危惧される埋蔵文化財包蔵地の状況確認及び保全等について、基礎資料得る目的で発掘調査等を行います。	国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」関係遺跡、高野林城跡範囲確認調査、篠窯業生産遺跡群範囲確認調査の発掘調査を実施しました。	（亀岡中部地区等の発掘調査） 11,950,078円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度を目標とし、1年ごとに国営農地整備関係遺跡等の調査が終了すると20%達成できたと設定しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

事前調査のデータを基にして、国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」関係遺跡、高野林城跡範囲確認調査、篠窯業生産遺跡群範囲確認調査などの発掘調査を実施しました。試掘調査のデータを基に面的な発掘調査が実施できました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後も国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」関係遺跡の発掘調査を継続して実施して、円滑に国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」が終了するように継続して行くことが重要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降も引き続き関係遺跡の発掘調査を実施し、国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」が円滑に実施できるように努めます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井　孝則	直通	25－5068	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	市内遺跡発掘調査事業、文化財保護経費（受託）一般事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

各種開発に伴う受託事業として発掘調査等を行い、遺跡及び資料の保全を図ります。なお、天川遺跡が23年度で終了、余部遺跡が24年度及び25年度繰越事業で終了。25年度からの事業として、太田遺跡並びに篠窯業生産遺跡があります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	余部遺跡、天川遺跡の発掘調査の成果を、広く一般市民を対象に現地説明会の開催やメディアを介して紹介します。	余部遺跡、天川遺跡の発掘調査を行い、その成果を広く一般市民を対象に現地説明会の開催やメディアを介して紹介しました。	（余部遺跡発掘調査、天川遺跡発掘調査） 7,947,572円
平成24年度	余部遺跡の発掘調査の成果を、広く一般市民を対象に現地説明会の開催やメディアを介して紹介します。	余部遺跡の発掘調査を行い、広く一般市民を対象に現地説明会の開催やメディアを介して紹介しました。	（余部遺跡発掘調査） 4,000,000円
平成25年度	余部遺跡発掘の繰越事業並びに太田遺跡及び篠窯業生産遺跡の発掘調査を実施し、広く市民に遺跡発掘調査の意義等の周知を図ります。	余部遺跡、太田遺跡、千代川遺跡の発掘調査を行い、広く一般市民を対象に現地説明会の開催やメディアを介して紹介しました。	（余部遺跡発掘調査繰越、太田遺跡発掘調査、千代川遺跡） 7,053,863円
平成26年度	太田遺跡発掘調査の成果をまとめ、報告書を刊行し広く市民に周知します。	太田遺跡発掘調査の成果をまとめ、報告書を刊行し広く市民に周知しました。	（太田遺跡等発掘調査）798,079円
平成27年度	余部遺跡と観音芝廃寺の発掘調査成果をまとめ、報告書を刊行し広く市民に周知します。	余部遺跡と観音芝廃寺の発掘調査成果をまとめ、報告書を刊行し広く市民に周知しました。	（余部遺跡発掘調査561,360円） （観音芝廃寺発掘調査550,000円） 合計1,111,360円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	27年度

（その根拠）

当面平成27年度を目標とし、1年ごとの受託事業の調査が終了いたしますと20%達成できたと設定しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

文化財保護法第９３条第１項に基づいて、周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為に関して、発掘調査が必要となった場合に円滑な対応をすすめ、文化財保護と開発との調整を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市内の埋蔵文化財が開発行為等によりき損されないように留意し、また円滑な開発協議が図られるように今後も調整を行う必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

開発行為に合わせ、引き続き文化財保護の推進と、埋蔵文化財の啓発に取り組みます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	文化資料館	係	文化資料館
担当者		八木	直通	25-5067	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	資料保存と公開									
③継続・新規	平成26年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新修亀岡市史編さん事業中に調査収集した資料類を、編さん終了後も継続して利用・保存していけるように、資料整理を進め、順次、公開資料として利用に供し、公開資料点数も増加しています。毎回、資料公開の初日に、当該資料の特色や利用方法などついて説明会を開催することで、資料についての理解を深めてもらうように努めています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	資料公開（第19回～第21回） 資料公開総点数2,170点	資料公開（第19回～第21回） 資料公開総点数2,170点	市史収集史料保存活用経費（2,164,819円）
平成24年度	資料公開（第22回～第24回） 資料公開総点数2,180点	資料公開（第22回～第24回） 資料公開総点数2,215点	市史収集史料保存活用経費（2,049,855円）
平成25年度	資料公開（第25回～第27回） 資料公開総点数2,190点	資料公開（第25回～第27回） 資料公開総点数6,457点	市史収集史料保存活用経費（2,088,999円）
平成26年度	資料公開（第28回～第30回） 資料公開総点数2,200点	資料公開（第28回～第30回） 資料公開総点数9,768点	市史収集史料保存活用経費（2,525,259円）
平成27年度	資料公開（第31回～第33回） 資料公開総点数2,210点	資料公開（第31回～第33回） 資料公開総点数13,126点	市史収集史料保存活用経費（2,467,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年継続の展示事業ですので、26年度の進捗状況については、27年度を目標年度とした場合、100パーセントとしました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

資料館所蔵資料として、資料整理を進め、順次、公開資料として利用に供し、公開資料点数も増加しています。毎回、資料公開の初日に、当該資料の特色や利用方法などついて説明会を開催し、参加人数自体はそう多くないものの、毎回、熱心に解説をきいていただき、資料の利用方法などについて理解を深めていただいています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

資料整理をすすめていく中で、広く一般の皆さんに気軽に手に取ってみていただけるように

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、広く一般に利用してもらえるように資料公開を進めていきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	文化資料館	係	文化資料館
担当者		八木	直通	25-5067	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	文化資料館展示事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ふるさと亀岡の歴史、文化や自然環境等を、広く知ってもらうため、通年をとおして開催している常設展のほかに、個別のテーマを設定して、企画展2回、特別展1回を開催しています。さらに、無料で見学できるロビーを活用して、季節ごとにテーマを変えて、ロビー展として小さな展示会を開催し（内1回は、国の天然記念物「アユモドキ」飼育展を含む）、気軽に来館してもらえる機会としています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年回5回、内1回は、国の天然記念物「アユモドキ」飼育展を含む）の開催。展示見学（有料入館）の人数1,640人。	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年5回、内１回アユモドキ飼育展）の開催。有料入館者数1,557人	文化資料館展示経費（2,326,896円）
平成24年度	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年間6回）の開催。 有料入館者数1,640人	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年8回、内1回アユモドキ飼育展）の開催。有料入館者数2,197人	文化資料館展示経費（2,322,130円）
平成25年度	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年間6回）の開催 有料入館者数1,640人	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年8回、内１回アユモドキ飼育展）の開催。有料入館者数1,963人	文化資料館展示経費（2,187,508円）
平成26年度	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年間6回）の開催 有料入館者数1,640人	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年6回、内１回アユモドキ飼育展）の開催。有料入館者数2,593人	文化資料館展示経費（2,280,897円）
平成27年度	展示会（特別展1回、企画展2回）及び、ロビー展（年間6回）の開催 有料入館者数1,640人	展示会（特別展1回、企画展2回）及びロビー展（年5回、内1回アユモドキ飼育展）の開催。有料入館者数2,379人	文化資料館展示経費（2,070,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年継続の展示事業ですので、26年度の進捗状況については、27年度を目標年度とした場合、100パーセントとしました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

毎年、特別展1回、企画展2回と、季節に応じてロビー展を開催しています。ふるさと亀岡の歴史文化について、広く展示紹介することができました。案内チラシやポスターなどは、市内だけでなく、広く市外の博物館等へも送っており、一定の入館者数は確保してきたと考えますが、さらなる増加をめざしたい。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

ふるさと亀岡の歴史文化について、テーマを変えながら展示会を開催してきました。平成28年3月に策定した新資料館構想でも指摘されているとおり、展示資料等を保管する収蔵スペースも限られており、また展示室自体も天井高が低いため、展示可能な資料が限られていることが、課題と考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、展示会は、特別展・企画展ともに継続していきたいと考えています。さらに、入館者数の増加を目指すため、ポスター・チラシ以外に、ホームページの充実など広報機能の強化を進めるとともに、新資料館実現までの間も、収蔵資料の保全に努めたい。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	文化資料館	係	文化資料館
担当者		八木	直通	25-5067	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	調査研究普及活動									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

展示会ごとの展示会図録の刊行及び、連続文化財講座の開催を中心に、友の会活動の支援や、こども歴史教室「のどかめ親子のアユモドキ見守り隊」や、福知正温記念演劇教室「ぶどうの会」など、できるだけ多くの個人・団体と連携して、参加型事業を積極的に実施していきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回開催）／こども歴史教室の開催（全7回）／連携団体数10	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回、延べ105人参加）／こども歴史教室の開催（全8回、17組45人）／連携団体数10	調査研究・普及活動経費（1,666,021円）
平成24年度	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回開催）／こども歴史教室の開催（全7回）／連携団体数10	展示会図録・館報の刊行（計3冊）／連続文化財講座の開催（全4回、延べ94人参加）／こども歴史教室の開催（全7回、26組74人）／連携団体数10	調査研究・普及活動経費（1,068,128円）
平成25年度	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回開催）／こども歴史教室の開催（全7回）／連携団体数10	展示会図録の刊行（計2冊）／連続文化財講座の開催（全2回、延べ24人参加）／こども歴史教室の開催（全7回、20組56人）／連携団体数12	調査研究・普及活動経費（712,613円）
平成26年度	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回開催）／こども歴史教室の開催（全7回）／連携団体数10	展示会図録の刊行（計3冊）／連続文化財講座の開催（全4回、延べ190人参加）／こども歴史教室の開催（全7回、19組51人）／連携団体数12	調査研究・普及活動経費（957,435円）
平成27年度	展示会図録の刊行（3冊）／連続文化財講座の開催（全4回開催）／こども歴史教室の開催（全7回）／連携団体数10	展示会図録の刊行（計2冊）／連続文化財講座の開催（全6回、延べ145人参加／こども歴史教室の開催（全7回、13組35人）／連携団体数20	調査研究・普及活動経費（1,058,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

毎年、内容に変化を持たせながら、継続事業として実施しています。文化に触れる機会や、親子で自然に親しむ機会などを、安定したペースで提供することが必要と考えています。そのため、27年度を目標年とした場合、100パーセントの進捗としました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

展示会ごとの展示会図録の刊行及び、連続文化財講座の開催を中心に、友の会活動の支援や、こども歴史教室「のどかめ親子のアユモドキ見守り隊」や、福知正温記念演劇教室「ぶどうの会」など、できるだけ多くの個人・団体と連携して、毎年、内容に少しずつ変化を持たせなGら、参加型事業を積極的に実施してきました。例年開催事業は、次回の開催を心待ちにしてくださるリピーターも多くなりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

のどかめ親子のアユモドキ見守り隊や演劇教室ぶどうの会など、体験講座について、できるだけ多くの人たちに参加いただけるようにすることも大切ですが、参加している人たち自身から、自分たちが感じた亀岡の魅力について発信してもらえるように、工夫することも大事だと考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、連携団体との協力関係を維持し、ふるさと亀岡の歴史文化・自然環境をできるだけ幅広く、多くの人たちが体験でき、ふるさと亀岡の魅力をさらに発信できるように、事業を継続していきたいと考えます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井　孝則	直通	25－5068	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	文化財保護経費（単独）一般事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市内の貴重な有形・無形の文化財の伝承活動や、史跡公有地の管理を行うとともに、周知啓発することによりふるさと力や文化財保護意識の高揚を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	国民文化祭の開催により、市内民俗文化財等の伝統文化を広く周知します。史跡公有地の管理を行います。	国民文化祭の開催により、市内民俗文化財等の伝統文化を広く周知できました。史跡公有地の管理に努められました。	亀岡祭山鉾行事保存継承事業等 5,277,074円
平成24年度	ポスト国民文化祭の開催により、市内民俗文化財等の伝統文化を広く周知します。史跡公有地6か所の管理を行います。	ポスト国民文化祭の開催により、市内民俗文化財等の伝統文化を広く周知しました。史跡公有地6か所の管理を行いました。	亀岡祭山鉾行事保存継承事業等2,651,870円
平成25年度	市内民俗文化財等の伝統文化を広報や、市のホームページ等により広く周知します。史跡公有地6か所の管理を行います。	亀岡祭山鉾行事を始めとする市内の有形・無形文化財の伝承活動の支援と伝統文化を広く周知しました。史跡公有地6か所の管理を行いました。	亀岡祭山鉾行事保存継承事業等 6,719,633円
平成26年度	市内民俗文化財等の伝統文化を広報や、市のホームページ等により広く周知します。史跡公有地6か所の管理を行います。	亀岡祭山鉾行事を始めとする市内の有形・無形文化財の伝承活動の支援と伝統文化を広く周知しました。史跡公有地6か所の管理を行いました。	亀岡祭山鉾行事保存継承事業等 4,511,560円
平成27年度	市内民俗文化財等の伝統文化を広報や、市のホームページ等により広く周知します。史跡公有地6か所の管理を行います。	亀岡祭山鉾行事を始めとする市内の有形・無形文化財の伝承活動の支援と伝統文化を広く周知しました。史跡公有地6か所の管理を行いました。	亀岡祭山鉾行事保存継承事業等 5,616,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

当面の目標を平成27年度とし、1年を通して広報やホームページ等での周知及び公有地の管理が終了すれば20%達成できたと設定しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡祭山鉾行事を始めとする市内の有形・無形文化財の伝承活動の支援と伝統文化を広く周知することができました。さらに史跡公有地6か所の管理を行いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後も亀岡祭山鉾行事を始めとする市内の有形・無形文化財の伝承活動の支援と伝統文化を広く周知していき、継続して文化財保護に力を入れていきたい。また、史跡公有地の維持管理を行っていきたい。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降も引き続き事業を継続して、地域と行政が連携して今後も地元のたからである文化財を護り親しんでいけるよう啓発事業にもさらに力を入れていきたいと考えます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井　孝則	直通	25－5068	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	2	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	重要文化的景観調査事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

文化財保護行政として、文化財保護法に規定する重要文化的景観の選定に向けた保存計画の策定を行い、国の重要文化的景観選定を受けることを目的とします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	篠町山本地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査を実施します。	篠町山本、大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査を実施し、文化的景観を周知するためフォーラムを開催しました。	景観構成要素の調査等4,000,115円
平成24年度	保津地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査を実施し、保存計画（案）の策定を行います。	保津地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査を実施しました。また、保存計画（案）の策定に向け取組みました。	景観構成要素の調査等3,000,074円
平成25年度	大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査の成果をもとに、保存計画の策定を行います。	保津地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査実施及び普及啓発を図りました。また、保存計画の策定に向け取組みました。	景観構成要素の調査等3,000,429円
平成26年度	大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査の成果をもとに、保存計画の策定を行います。	保津地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として景観構成要素の調査実施及び普及啓発を図りました。また、保存計画の策定に向け取組みました。	景観構成要素の調査等3,000,014円
平成27年度	大堰川流域（篠町山本地区及び保津地区、大堰川）の文化的景観について申し出を行います。	保津地区及び大堰川の重要文化的景観保護推進事業として報告書の刊行及び普及啓発を図りました。	景観構成要素の調査等3,000,176円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの当該事業に係る業務の割合を、保存調査40%（山本20%、保津町20%）、検討委員会の開催20%、保存計画の策定20%、普及啓発20%としたところ、現在の進捗度は、保存調査30%（山本保存調査完了、保津外観調査）、検討委員会の開催10%、保存計画の策定10%、普及啓発10%（フォーラム及び調査地での中間報告会の実施、景観だよりの発行）となるものです。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

保津地区や山本地区などを中心とした大堰川周辺の景観を重要文化的景観として選定するため、集落景観などを調査し、報告書としてまとめました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

大堰川周辺の景観を重要文化的景観とするため、保津地区や山本地区を中心とした地元等関係者と協議・調整が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

保津地区や山本地区を中心とした大堰川周辺の景観を重要文化的景観とするため地元同意をとり、重要文化的景観に選定され景観を保存して、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」に亀岡のまちなみを整備していくよう全市的に検討していく。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井　孝則	直通	25－5068	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	史跡丹波国分寺跡公有地事業・記念物保存修理事業・国分寺保存活用事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「丹波ＮＥＷ風土記の里整備構想」及び「史跡丹波国分寺跡整備実施計画」に基づき、公有化事業を行うとともに、既公有地の中心部分については、発掘調査で得られた成果並びに「史跡丹波国分寺跡整備実施計画」により、史跡公園として整備を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	指定面積73,988.98㎡。既公有地面積56,373.73㎡。23年度買上面積6,159㎡。寺域北東部等の基盤造成工事を行います。	丹波国分寺跡の公有化を図るためため6,159㎡を購入した。寺域北東部等の基盤造成工事を行いました。	（公有化事業、基盤造成工事） 84,581,764円
平成24年度	指定面積73,988.98㎡。既公有地面積62,532.73㎡。24年度買上面積6,500㎡。中門回廊の遺構表示を行います。	丹波国分寺跡の公有化を図るため4,511.30㎡を購入（一部寄付受）した。中門回廊の遺構表示工事を行いました。	（公有化事業、遺構表示事業） 60,041,051円
平成25年度	指定面積73,988.98㎡。既公有地面積67,044.03㎡。25年度買上面積5,297.98㎡。発掘調査により確認された遺構の内1か所を表示します。	丹波国分寺跡の公有化を図るため1,794㎡を購入した。解説板設置及び植栽等の環境整備工事を行いました。	（公有化事業、環境整備事業） 26,958,844円
平成26年度	公有化の終了を目指し、整備検討委員会の意見を受け、全体的・将来的な史跡公園として、計画的かつ効果的な環境整備工事を実施します。	丹波国分寺跡の公有化を図るため1,014㎡を購入した。敷地造成・植栽等の環境整備工事を行いました。	（公有化事業、環境整備事業） 17,168,553円
平成27年度	整備検討委員会の意見を受け、全体的・将来的な史跡公園として、計画的かつ効果的な環境整備工事を実施します。	丹波国分寺跡の敷地造成・案内板設置等の環境整備工事を行いました。	（環境整備事業） 5,000,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

公有化は、地権者の理解と協力をもって平成26年度終了を目指し、発掘調査により確認できた遺構表示等の整備は、整備検討委員会の意見を受けて全体的な史跡公園整備の中で実施していくものです。

当面平成27年度を目標とし、１年ごとの計画事業が終了すると20%達成できたと設定しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

公有化は、平成27年度で９０パーセント以上の買上げを行いました。発掘調査により確認できた遺構表示等の整備は、整備検討委員会の意見を受けて全体的な史跡公園整備の中で実施していきました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

買上げ事業はほぼ完了しましたが、整備事業が進んでいないため、整備検討委員会を行い、全体的な史跡公園整備計画を策定する必要があります。計画的に実施していくことが重要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

　平成28年度以降も引き続き整備検討委員会の意見を受けて全体的な史跡公園整備を策定し、計画的に実施していきたいと考えます。
　また、できるだけ早期に丹波国分寺跡公園の完成を目指します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	文化財係
担当者		土井　孝則	直通	２５－５０６８	内線	3754

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	歴史体験・啓発事業（史跡公園の整備）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「丹波ＮＥＷ風土記の里整備構想」及び「史跡丹波国分寺跡整備実施計画」に基づき、公有化事業を行うとともに、既公有地の中心部分については、発掘調査で得られた成果並びに「史跡丹波国分寺跡整備実施計画」により、史跡公園として整備を行っています。子どもたちが歴史をより身近なものと感じ、ふるさと亀岡の良さを認識してもらえるように、公園整備とともに小中学生を対象とした当該施設を活用した歴史体験・啓発事業（見学会や体験学習会）を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	－	－	－
平成24年度	－	－	－
平成25年度	－	－	－
平成26年度	各小中学校に向けてPRを行い、見学会や体験学習会を行います。	小学校から依頼を受けて、見学会を行いました。（２校１２５名）	0
平成27年度	各小中学校に向けてPRを行い、見学会や体験学習会を行います。	小学校から依頼を受けて、見学会を行いました。（２校８２名）	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

小学校からの講師派遣の依頼を受け、見学会を実施しました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小学校からの講師派遣の依頼を受け、見学会を実施しました。延べ４校２０７名の利用がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

見学会を開催しましたが、依頼は一部の小学校からであったので、今後は全校的に広がるように努めます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

　平成28年度以降も引き続き事業を継続して行いたいと考えています。できるだけ多くの人に知っていただき、大人から子どもまで幅広く利用されるように取り組みます。
また、できるだけ早期に丹波国分寺跡公園の完成を目指します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	文化資料館	係	文化資料館
担当者		八木	直通	25-5067	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	22
②事業名	新資料館構想の策定									
③継続・新規	平成26年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新資料館構想の策定のために、様々な意見を広く聴き、市民が求めるより良い資料館像を模索している。24年度と25年度は、新しい資料館には何が必要か、子どもたちへのアプローチの手法などを学ぶための連続講座を既存事業の枠の中で開催しました。
26年より、新資料館構想策定事業として、検討委員会を立ち上げ、望ましい新資料館のあり方について、具体的な内容の検討をすすめています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	広く意見を得る機会を持つ(講座)	連続文化財講座4回開催（延べ94人参加)	0円
平成25年度	子どもへのアプローチを進める（講座）。具体的な事業進行や資料整理方法について学ぶ（視察）。	連続文化財講座2回開催（延べ24人参加：内、大人7人、子ども17人）	0円
平成26年度	新資料館構想策定委員会開催及び中間報告	委員会設置（委員数14名）／委員会開催（4回）／先進地視察（2回、3館）／中間報告書を作成	新資料館構想策定経費（1,360,441円）
平成27年度	新資料館構想策定委員会の開催及び、新資料館構想の策定	委員会開催（6回）／先進地視察（1回、2館）／亀岡市新資料館構想を策定	新資料館構想策定経費（1,506,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成26年度から、委員会を立ち上げ、具体的に検討をすすめました。平成27年度についても、委員会開催や先進地視察も実施し、新資料館構想も策定できたことから、100％としました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標としていた亀岡市新資料館構想が策定できました。構想の内容については、出来るだけ多くのみなさんに理解していただきために、印刷物（冊子）を作成して配布しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

新資料館構想策定にあたり、委員会（委員14名）を10回開催し、パブリックコメントも実施し、多くの意見も頂いた中で、新資料館構想を策定できたと考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、第4次亀岡市総合計画（後期計画）や亀岡市公共施設総合管理計画などとの整合にも留意しながら、新資料館構想に基づいて、具体化をすすめていきたいと考えています。
特に、総合計画後期5年の中で、当初は、資料館協議会の設定・開催やホームページなど広報活動の充実に力をいれ、後半では、実際に基本計画の策定に向けて進めていきたいと考えています。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯スポーツ振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【子供のスポーツ機会の充実】「スポーツを好きになる」「自分にあったスポーツをみつける」ことは未来を担うこどもたちにとって大切であります。生涯にわたってスポーツが好きになり、運動に親しむことができる能力と態度を育成することを目的として、前期・後期年２回、かめおかスポーツ体験教室を開催します。
また、大規模スポーツ施設の開設に向け、サッカーなどの競技が普及・発展するよう京都サンガＦ．Ｃ．と子どもたちとの交流事業を開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１００名 〔後期〕参加者数１００名	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２６名 〔後期〕参加者数１１２名	４５４，８１６円
平成24年度	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１００名 〔後期〕参加者数１００名	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１１０名 〔後期〕参加者数１００名 ・「京のスポーツ夢バンク」KIDSサッカー教室	４８７，１８７円
平成25年度	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２０名 〔後期〕参加者数１２０名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」８校／１，４３２名	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２０名 〔後期〕参加者数６７名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」８校／１，４３９名	１，５５３，１４０円
平成26年度	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２０名 〔後期〕参加者数１２０名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」１０校／１，５００名	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２１名 〔後期〕参加者数８７名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」１５校／２，０２１名	７０５，３７３円
平成27年度	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１２０名 〔後期〕参加者数１２０名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」１０校／１，５００名	・かめおかスポーツ体験教室 〔前期〕参加者数１１５名 〔後期〕参加者数８４名 ・サッカー教室「サンガつながり隊」１０校／１，２７８名	７５０，１９１円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年までに実施すべく取り組みの目標人数は、合計5,552名であり、平成27年度までの参加実績が、5,780名であることから、100%の達成率とします。次年度においても、参加者が増加するよう広報活動を強化し、設定目標の達成に向けて取組みます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加人数を超えることが出来たのは、スポーツに対する関心度が高まっていると考えられます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

かめおかスポーツ体験教室では、後期（１０～１１月）開催の参加人数が、定員に達しないことから、開催日の工夫が必要だと考えられます。また、サッカー教室も、小学校が参加しやすく、子どもたちにメリットが大きくなる指導等を工夫する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き事業を展開することとし、一層、子どもたちがスポーツを体験できる機会を増やすとともに、スポーツを継続する子どもたちが増加するように努めます。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯スポーツ振興事業、競技力向上事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【成人のスポーツ機会の充実】青年期以降の市民に、年代に応じ自主的・継続的なスポーツライフの実現に向け、スポーツ事業の機会を提供します。
①市民総体及びチャレンジ大会…市民の健康保持・増進と豊かなコミュニティの形成に向け、誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの拡充を図ります。
②平和祭大会…「世界連邦・非核平和都市宣言」の趣旨を踏まえ恒久平和を願い、市民の健康増進、体力の向上を図ります。
③元旦ロード及び市民駅伝…スポーツの普及・振興と中長距離ランナーの育成・普及を目指す。平成27年度（市制60周年）は、第1回京都亀岡ハーフマラソンを開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市民総体（500人）・平和祭大会（5,000人）・亀岡チャレンジ大会（500人）・元旦ロード（1,300人）・市民駅伝（100人）	・市民総体（650人）・平和祭大会（4,800人）・亀岡チャレンジ大会（700人）・元旦ロード（1,300人）・市民駅伝（120人）	３，４６０，０００円
平成24年度	・市民総体（500人）・平和祭大会（5,000人）・亀岡チャレンジ大会（500人）・元旦ロード（1,300人）・市民駅伝（100人）	・市民総体（770人）・平和祭大会（4,800人）・亀岡チャレンジ大会（880人）・元旦ロード（1,395人）・市民駅伝（積雪中止）	３，４６０，０００円
平成25年度	・市民総体（800人）・平和祭大会（5,000人）・亀岡チャレンジ大会（900人）・元旦ロード（1,500人）・市民駅伝（150人）	・市民総体（819人）・平和祭大会（3,996人）・亀岡チャレンジ大会（724人）・元旦ロード（1,539人）・市民駅伝（106人）	３，４６０，０００円
平成26年度	・市民総体（850人）・平和祭大会（5,000人）・亀岡チャレンジ大会（900人）・市民駅伝（150人）	・市民総体（750人）・平和祭大会（3,653人）・亀岡チャレンジ大会（750人）・市民駅伝（682人）	２，６００，０００円
平成27年度	・市民総体（900人）・平和祭大会（4,000人）・亀岡チャレンジ大会（1,000人）・市民駅伝（700人）・ハーフマラソン（3,500人）	・市民総体（事業取止め0人）・平和祭大会（5,158人）・スポーツフェスティバル（1,310人）・市民駅伝（454人）・ハーフマラソン（3,400人）	８，７６０，０００円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

各スポーツ大会に出場される人数については、競技種目や専門性・技術力などあり各大会が一定の割合で増加することは考えにくく、今後も少子高齢化が進むことは現実的であります。しかし参加者数が増加するように努めたい。平成２６年度については元旦ロードレースは開催しなかったが、平成27年度目標参加人数約40,000人に対して、平成27年度参加者数は38,756人であったため、達成率は９７パーセントとします。また、平成２８年度のハーフマラソン開催に向け、目標人数に達成できるよう努めます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成２７年度は市民ニーズを合わせ、市民総体の事業を取りやめしましたが、１００％に近い参加者を得ることが出来た。スポーツに対する関心度が高まっていると考えられます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

スポーツ事業のマンネリ化や、市民ニーズの変容などを把握するとともに、スポーツの推進を図り賑わいのあるまちづくりが図れるよう工夫が必要であります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き事業を展開することとし、一層、市民の参加が増加していくよう改善を図ってまいります。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯スポーツ振興事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【障害者・高齢者のスポーツ機会の充実】　①生涯スポーツデー…　毎月第２土曜日の午前中に、子どもから高齢者及び障害者を対象に、体育館を開放してスポーツを楽しむ日を設けています。
②高齢者を対象に、健康・生きがいづくりにつながるよう卓球教室を開催しています。しかし、参加者の減少と事業のマンネリ化により、平成26年度から、グラウンドゴルフを楽しむ会へと事業を変更しました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・生涯スポーツデー（300人） ・シニア卓球教室（100人）	・生涯スポーツデー（490人） ・シニア卓球教室（80人）	４１０，０００円
平成24年度	・生涯スポーツデー（400人） ・シニア卓球教室（100人）	・生涯スポーツデー（800人） ・シニア卓球教室（60人）	４１０，０００円
平成25年度	・生涯スポーツデー（450人） ・シニア卓球教室（110人）	・生涯スポーツデー（752人） ・シニア卓球教室（49人）	４１０，０００円
平成26年度	・生涯スポーツデー（500人） ・シニア卓球教室（120人）	・生涯スポーツデー（681人） ・グラウンドゴルフを楽しむ会（延べ1,300人）	４１０，０００円
平成27年度	・生涯スポーツデー（550人） ・グラウンドゴルフを楽しむ会（延べ1,000人）	・生涯スポーツデー（639人） ・グラウンドゴルフを楽しむ会（延べ1,088人）	８１０，０００円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

各スポーツ事業に参加される人数については、事業の性質上一定の割合で増加することは考えにくい。高齢者スポーツのシニア卓球教室を実施してきましたが、事業のマンネリ化と参加減少により、平成26年度からグラウンドゴルフを楽しむ会に変更しました。事業を変更し多くの高齢者の参加を得て、平成26年度で平成27年度末までの参加目標人数を越えていることから、達成度、100パーセントとします。また、高齢者の参加が増加するよう広報活動を充実させます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成２６年度から、市民ニーズに合わせ、グラウンドゴルフを実施し、多くの参加を得ることが出来た。また、平成２７年度の生涯スポーツデーでは、年間６３９人に対して、障がい者８６人、６０歳以上２８９人となった。全体の５９％に値する。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

スポーツ事業のマンネリ化や、障がい者、高齢者のニーズなどを把握するとともに、更にスポーツの推進が図れるよう工夫が必要であります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降については、引き続き事業を展開することとし、一層、障がい者、高齢者の参加が増加していくよう改善を図ってまいります。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯スポーツ振興事業、スポーツ推進委員活動事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【趣旨】幼児から高齢者まで幅広い市民を対象に、リクリエーションやスポーツにふれあい、楽しく体を動かし、心身をリフレッシュすることを目的に開催します。

【概要】場所：亀岡運動公園体育館 大体育室　時間：毎月第４土曜日の午後７時～９時まで

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ふれあいスポーツデー（840人）	・ふれあいスポーツ・デー（810人）	202,820円
平成24年度	・ふれあいスポーツデー（880人）	・ふれあいスポーツ・デー（957人）	286,680円
平成25年度	・ふれあいスポーツデー（1,080人）	・ふれあいスポーツ・デー（1,022人）	327,780円
平成26年度	・ふれあいスポーツデー（1,200人）	・ふれあいスポーツ・デー（729人）	438,096円
平成27年度	・ふれあいスポーツデー（1,000人）	・ふれあいスポーツデー（925人）	249,523円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

スポーツ推進委員協議会の事業である「ふれあいスポーツデー」は、計画どおり実施種目等を決定し、毎月約80名超の参加を得て開催しています。目標年度までの目標参加者数が延べ5,000人に対して、平成27年度までの実績は延べ4,443人で、平成26年度の進捗度は89%とします。種目等の検討や、指導方法など今後改善を図ります。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標参加団体及び参加人数については、目標に対して実績が89%となり、目標人数に達しなかったが、子どもから高齢者まで幅広く参加をいただいた。また、常連の参加者も多いが、新規の参加者も多くなってきており、事業の成果が表れていると思われます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

実施種目の見直しや、指導方法、広報の仕方など検討していく時期になってきていると思われるので、他の事業との整合性を図りながら調整していきたいと思います。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、参加状況や指導内容等を見ながら、更に良い事業になるよう検討していくこととします。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	体育施設管理運営事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【ソフト・ハード両面でのスポーツ環境の整備・充実】安全・安心なスポーツ環境を整備するため、体育協会に施設委員会を設け、施設の有効利用等について協議しています。
また、指導者の育成と指導者の資質の向上を図るため、スポーツフォーラムを毎年開催しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・かめおかスポーツフォーラム（100人） ・市営球技場（50,000人）月読橋球技場・医王谷野球場・国際広場・春日坂の利用人数	・かめおかスポーツフォーラム（105人） ・市営球技場（59,275人）	0円
平成24年度	・かめおかスポーツフォーラム（120人） ・市営球技場（60,000人）同上	・かめおかスポーツフォーラム（85人） ・市営球技場（59,109人）	0円
平成25年度	・かめおかスポーツフォーラム（140人） ・市営球技場（60,500人）同上	・かめおかスポーツフォーラム（70人） ・市営球技場（62,081人）	20,000円
平成26年度	・かめおかスポーツフォーラム（160人） ・市営球技場（61,000人）同上	・かめおかスポーツフォーラム（62人） ・市営球技場（60,936人）	0円
平成27年度	・かめおかスポーツフォーラム（180人） ・市営球技場（61,500人）同上	・かめおかスポーツフォーラム（74人） ・市営球技場（64,888人）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

市営球技場の利用については、雨天時が多くなれば参加者数が減少する等天候に左右される。フォーラムの参加者については、各競技の指導者数の増減や、フォーラム開催日の大会等のバッティングによって異なる。平成27年までに実施すべく取り組みの目標人数は、合計293,700名であり、平成27年度までの参加実績が、306,685名であることから、100%の達成率とします

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市営球技場の利用については、天候に左右されますが、前期の計画では100%を超える利用があった。特に、医王谷、国際球技場等の整備を行ったことにより、平成２７年度は約4,000人増加した。今後も、利用者に親しまれ安全で安心して使用できる施設となるよう検討していきます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

かめおかスポーツフォーラム（指導者研修）では、競技団体の役員の出席が多い。直接、指導している指導者が参加できる仕組みづくりを今後、検討します。また、施設の修繕については、大規模な修繕が多いが、工夫をして行っていきたい。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、利用者が増加するようＰＲ活動を強化していくこととします。また、スポーツフォーラムも、大切な事業であるので、指導者が参加しやすいように検討していきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		川内　悌二	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	京都・亀岡保津川公園（京都スタジアム（仮称））関連事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市の経済・観光等の活性化、にぎわいのあるまちづくりの推進、亀岡駅北周辺整備計画との連携による亀岡駅を中心とする都市核の形成、アユモドキを含む環境保全、また、スポーツを通じて青少年の健全育成に寄与するため、亀岡の新たなランドマークとなる京都・亀岡保津川公園（京都スタジアム（仮称））の整備を推進するもので、建設用地の確保、市民啓発・サポート体制整備、アユモドキ等希少種の保護・サンクチュアリ整備、農用地除外、治水対策、都市計画公園決定、アクセス道路や上下水道といったインフラ整備等を順次進めていきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	－	－	－
平成24年度	－	誘致決定、大規模スポーツ施設推進プロジェクト・チーム会議設置、地権者説明会・協議、関係機関協議等	－
平成25年度	地権者用地協力同意、農用地除外、用地測量・境界確定、都市計画公園決定協議、アクセス道路・サンクチュアリ等整備協議	地権者用地協力同意、農用地除外、用地測量・境界確定、都市計画公園決定協議、アクセス道路・サンクチュアリ等整備協議	（用地測量・境界確定等） 24,003,060円 ※政策推進課所管分
平成26年度	都市計画公園決定、用地買収契約、アクセス道路等一部工事・サンクチュアリ設計	都市計画公園決定・事業認可、用地買収契約、アクセス道路等一部工事、アユモドキの保全調査・実証実験	（用地買収等） 1,345,325,856円 ※政策推進課所管分
平成27年度	用地買収契約、公有地等の整理、アクセス道路等一部工事、アユモドキの保全調査・実証実験	用地買収契約、公有地等の整理、アクセス道路等一部工事、アユモドキの保全調査・実証実験	（用地買収等） 392,136,289円 ※政策推進課所管分

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

京都スタジアム（仮称）関連の整備については、全庁体制により事業の円滑な実施を図っているところです。アユモドキをはじめとする環境への影響に対する評価や分析に一定の時間を要していることから、事業の進捗については目標年度に対する達成率を70%とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

アユモドキをはじめとする環境への影響に対する評価や分析に少々時間を要していますが、用地の確保はほぼ完了し、都市計画公園の決定及び事業認可も終え、アクセス道路等の工事についても一部施工しており、「アユモドキ等の自然と共生する公園スタジアム」の実現に向けて着実に事業を推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「アユモドキ等の自然と共生するスタジアム」の早期の実現に向けて、環境保全専門家会議等の専門家の知見を得る中で、京都府との連携を更に強化し事業を進める必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡の環境のシンボルであるアユモドキの保全と、スタジアム整備との両立を早期に実現するために、関係者の意見を聞く中で丁寧に事業を推進します。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部　昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生涯スポーツ振興事業、体育団体活動助成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

【総合型地域スポーツクラブの育成】市民と協働でスポーツ環境を充実させるため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図る。しかし、本市には、昭和の時代から体育振興会が各町にあるため、総合型地域スポーツクラブが、亀岡市の地域に必要なのか、今後、国・府の動向を見つめながら検討していく。ただし、地域でのスポーツ活動の振興については重要な施策であるため、推進を図っていく。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・スポーツ振興くじ助成事業（1,600,000円）	・スポーツ振興くじ助成事業（1,600,000円）	１，６００，０００円
平成24年度	・総合型地域スポーツクラブの育成		０円
平成25年度	地域スポーツの振興を図るため、各地域の体育振興会を強化するか、各地域に総合型クラブを設立するかは、行政と市体協などとの調整が必要。		０円
平成26年度	地域スポーツの振興を図るため、各地域の体育振興会を強化するか、各地域に総合型クラブを設立するかは、行政と市体協などとの調整が必要。		０円
平成27年度	地域スポーツの振興を図るため、各地域の体育振興会を強化するか、各地域に総合型クラブを設立するかは、行政と市体協などとの調整している。		０円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→		平成27年度

（その根拠）

社会環境も変容しているなか、スポーツ界も人々の価値観や考え方など変わってきている。平成２７年度には総合型クラブ設置数を６クラブ目標と定めており、現在４クラブ設置しているため、６７パーセント達成していると設定しています。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

南つつじケ丘スポーツクラブ（平成１６年３月設立）は、継続してスポーツの普及に尽力したことから、平成２５年度に京都府から、「生涯スポーツ優良団体」表彰を受賞しました。引き続き、スポーツ活動を積極的に行っています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

昭和５０年代から、体育振興会というスポーツ組織が、各町で組織化され、本市の各町に誕生してきた。現在も、各町のスポーツ事業等は、各体育振興会が行っている状況です。そのため、各町に、新たに総合型地域スポーツクラブを組織化することは難しい状況であります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

各町でのスポーツ推進は重要であることから、各町との連携を図りながら、積極的にスポーツ推進を図っていくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	24
②事業名	住民交流推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

住民主体の交流事業の拡充に向け、他市における文化・スポーツ事業等の情報を提供します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（850人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（745人）	住民交流推進経費（84,599円）
平成24年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（900人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（828人）	住民交流推進経費（73,415円）
平成25年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（900人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（683人）	住民交流推進経費（26,950円）
平成26年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（1,000人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（705人）	住民交流推進経費（80,925円）
平成27年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（1,000人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（767人）	住民交流推進経費（78,472円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市で開催された事業の参加者数を数値目標にしており、亀岡市と西京区とで交互に会場を移し開催される事業があるため、その事業が西京区で開催される年度は数値目標を前年度と同じにし、亀岡市で開催される年度では、前年度より増加させることとしています。
平成27年度までの参加者数の目標合計が4,650人であるのに対し、平成27年度までの参加者数は3,728人であり、達成率は80%となりました。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者数は目標に対して実績が80％となりました。
目標参加者数には届きませんでしたが、毎年700人を超える区市民が事業に参加し交流を深めています。また、交流事業数も平成23年度の9事業から平成27年度は11事業と増加しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

交流事業数は増加しましたが、事業数の増加が必ずしも参加人数の増加につながっていません。参加者数増加のためには、より積極的なＰＲ活動が必要です。
また、交流事業以外にも、西京区との住民交流が進むよう、両区市の行事情報を積極的に広報していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降も引き続き交流事業を展開することとします。また、両区市の住民交流をさらに進めるため、イベント等のチラシの配架や広報誌やホームページへの掲載等、両区市の情報交流、広報を積極的に進めていきます。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	国際文化交流事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

異文化を体験・体感する機会を通じて国際理解を推進するため、国際意識を育む交流事業の計画的な実施と、市民参画を促進します。
公益財団法人生涯学習かめおか財団が実施する国際交流事業に対して補助金を交付し、市民レベルでの国際交流を推進します。
亀岡国際交流協会が、市民と市内外の在住外国人・留学生との交流を図るために実施する事業等に対して補助金を交付し、相互の交流のきっかけとなる場を提供します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・国際文化交流事業参加者数（250人） ・ワールドフェスタ参加者数（50人）	・国際文化交流事業参加者数（271人） ・ワールドフェスタ参加者数（174人）	（国際文化交流事業委託料）1,157,000円 （亀岡国際交流協会補助金）100,000円
平成24年度	・国際文化交流事業参加者数（350人） ・ワールドフェスタ参加者数（200人）	・国際文化交流事業参加者数（265人） ・ワールドフェスタ参加者数（300人）	（国際交流事業経費）349,506円 （亀岡国際交流協会補助金）100,000円
平成25年度	・国際文化交流事業参加者数（400人） ・ワールドフェスタ参加者数（200人）	・国際文化交流事業参加者数 （285人） ・ワールドフェスタ参加者数	（国際交流事業経費）272,997円 （亀岡国際交流協会補助金）100,000円
平成26年度	・国際文化交流事業参加者数（450人） ・ワールドフェスタ参加者数（200人）	・国際文化交流事業参加者数 （300人） ・ワールドフェスタ参加者数	（国際交流事業経費）638,951円 （亀岡国際交流協会補助金）100,000円
平成27年度	・国際文化交流事業参加者数（500人） ・ワールドフェスタ参加者数（200人）	・国際文化交流事業参加者数 （489人） ・ワールドフェスタ参加者数	（国際交流事業経費）784,000円 （亀岡国際交流協会補助金）100,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの目標参加者数が2,800人に対して、平成27年度までの参加者数は2,598人であったため、進捗度は約93%となりました。次年度も、より多くの市民が参加できるよう事業内容を充実させると共に、広報を強化して行きます。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者数は93%となり、目標参加者数には届かなかったもののワールドフェスタを年1回開催から年2回開催とするなど、市民参加の機会の増加を図りました。
平成26年度、平成27年度は姉妹都市等訪問団派遣や招へい事業に合わせ、姉妹都市・友好交流都市についての理解と交流を深める事業も実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

近年亀岡市では多くの外国人が居住し、また外国人観光客も増加しています。国際交流はより身近なものとなっており、今後はこうした外国人を含めたあらゆる人々が過ごしやすいまちづくりを推進していくため、国際理解、多文化共生の事業を進めていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降はさらに市民レベルの国際交流事業を充実させるため、市民参加の事業を増加させることに加え、災害時の外国人住民支援の事業など、あらゆる人々が過ごしやすいまちづくりのための事業を市民と協働で展開します。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	姉妹都市等交流事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民レベルの交流を図るため、市民参加による訪問団の姉妹都市等への派遣や招致を実施します。また、市民団体による姉妹都市交流事業を支援・促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「国際交流のあゆみ」発行	「国際交流のあゆみ」発行（500部）	（国際交流経費） 402,381円
平成24年度	・姉妹都市・友好交流都市との連絡方法を整理 ・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	・姉妹都市・友好交流都市との連絡方法を整理 ・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	（国際交流経費） 271,634円
平成25年度	・クニッテルフェルト市姉妹都市盟約締結５０周年事業を企画・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	・姉妹都市・友好交流都市との連絡方法を整理 ・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	（国際交流経費） 146,770円
平成26年度	・クニッテルフェルト市姉妹都市盟約締結５０周年事業を実施・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	・クニッテルフェルト市姉妹都市盟約締結50周年記念訪問団派遣（市民15名、随行員2名参加） ・市民団体による姉妹都市交流事業を支援（絵画や書による交流）	（国際交流経費） 1,233,738円
平成27年度	・ジャンヂーラ市・スティルウォーター市姉妹都市盟約締結30周年事業を実施・市民団体による姉妹都市交流事業を支援(絵画や書による交流)	・スティルウォーター市姉妹都市盟約締結30周年記念訪問団派遣（公式訪問団3名） ・市制60周年姉妹都市等招へい事業（4市17名を招へい）	（国際交流経費） 4,310,039円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

5ヶ年で取り組むべき内容に基づき、平成27年度で実施すべき事業は完了しているため、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

姉妹都市等盟約締結記念事業として、平成26年度にはクニッテルフェルト市、平成27年度にはスティルウォーター市に訪問団を派遣しました。また、亀岡市制60周年記念として、姉妹都市・友好交流都市を招へいし、４都市１７名が亀岡市を訪れました。招へい期間中には市民交流事業も開催され、多くの市民が参加しました。また訪問団も小学校を訪問する等、市民との交流を深めました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

近年の姉妹都市や友好交流都市との交流成果を一過性のものとしないように、国際理解や交流を推進するための事業を充実させていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降は、多くの市民が姉妹都市や友好交流都市を身近に感じられるようＰＲ活動を強化すると共に、国際交流に対して、一層関心を持ってもらえるような事業を展開していくこととします。

様式１　【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	国際交流員活動事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

より多くの情報提供を行い、外国人市民にも暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国語による生活ガイドやニュースレター、ホームページの充実を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・外国人市民向けホームページの内容を検討	・外国人市民向けホームページの内容を検討	（外国青年招致経費） 4,227,605円
平成24年度	・外国人市民向けホームページを作成	・外国人市民向けホームページを作成	（外国青年招致経費） 4,068,253円
平成25年度	・外国人市民向けホームページを適宜更新	・外国人市民向けホームページを作成	（外国青年招致経費）4,449,480円
平成26年度	・外国人市民向けホームページを適宜更新	・外国人市民向けホームページを作成	（外国青年招致経費） 4,097,873円
平成27年度	・外国人市民向けホームページを適宜更新	・外国人住民向けホームページの作成	（外国青年招致経費） 4,301,447円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

5ヶ年で取り組むべき内容に基づき、平成26年度で実施すべき事業は完了しているため、100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

外国人住民へより多くの情報提供を行うため、平成24年度から英語とやさしい日本語による亀岡市ホームページを公開しています。また、亀岡市についての理解を深めてもらうため、市の広報誌「きらり☆亀岡」を翻訳し、ホームページに掲載すると共に、姉妹都市・友好交流都市にも送付しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成24年度から英語とやさしい日本語版の亀岡市ホームページを公開していますが、必要な情報をより速く外国人住民に伝えるため、閲覧しやすいページに更新していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降は、引き続き「キラリ☆亀岡」の翻訳等を実施すると共に、英語とやさしい日本語版の亀岡市ホームページをより閲覧しやすいようリニューアルを進めます。

様式1　**【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書**

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	地球環境子ども村係
担当者		木暮湧也	直通	26-6100	内線	

■A　進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市交流会館管理運営事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市交流会館は市民の交流施設として供しており、館内には「地球環境子ども村」や「教育研究所」があり、それぞれの拠点施設として事業展開を図っています。しかし、会館の管理運営を平成24年4月1日より、財団法人亀岡市交流活動センターから亀岡市に移管し、そして、これまでの施設の利用状況を考慮して、平成24年7月1日より施設の利用時間や曜日に制限を設けて施設の管理運営を軽減して、今後の施設としての在り方、及び存続について検討していかなければなりません。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	施設利用者の拡充	利用者件数　598件 利用人数　8,502人 収　入　343,400円	交流会館指定管理料 13,204,000円
平成24年度	施設利用者の拡充、及び施設の在り方について検討	利用者件数　366件 利用人数　6,763人 収　入　333,310円	交流会館運営経費 7,203,784円
平成25年度	施設利用者の拡充、及び施設の在り方について検討	利用者件数　224件 利用人数　2,774人 収　入　214,520円	交流会館運営経費 7,304,688円
平成26年度	施設利用者の拡充、及び施設の在り方について検討	利用者件数　217件 利用人数　3,024人 収　入　216,158円	交流会館運営経費 6,828,185円
平成27年度	施設利用者の拡充、及び施設の在り方について検討	利用者件数　329件 利用人数　7,904人 収　入　261,490円	交流会館運営経費 6,947,506円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度	→	→	→	→	→	平成27年度

（その根拠）

平成27年度までに今後の施設の在り方も考慮し、そして、施設利用者の充実を図っていくことで、平成27年度を取組の完了として100%の達成率とします。

■B　前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

財団法人亀岡市交流活動センターから市直営となり、管理運営費を減少させることができた。また利活用についても平成２６年から平成２７年度にかけて多くの利用者に活用していただくことができ、使用料収入も増加した。今後の施設利用についての検討会も重ねることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

施設の老朽化が目立ってきており、施設の修繕が必要になってきている。また施設利活用についても、検討会での意見を集約して活用する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地方創生加速化交付金を活用し、地域住民が地域産業の活性化のために薬膳レストランや砥石博物館などを開館する予定であり、交流会館がさらに多くの方に活用されることになる予定です。